



統計からみたやまなし

— 令和3年度 —

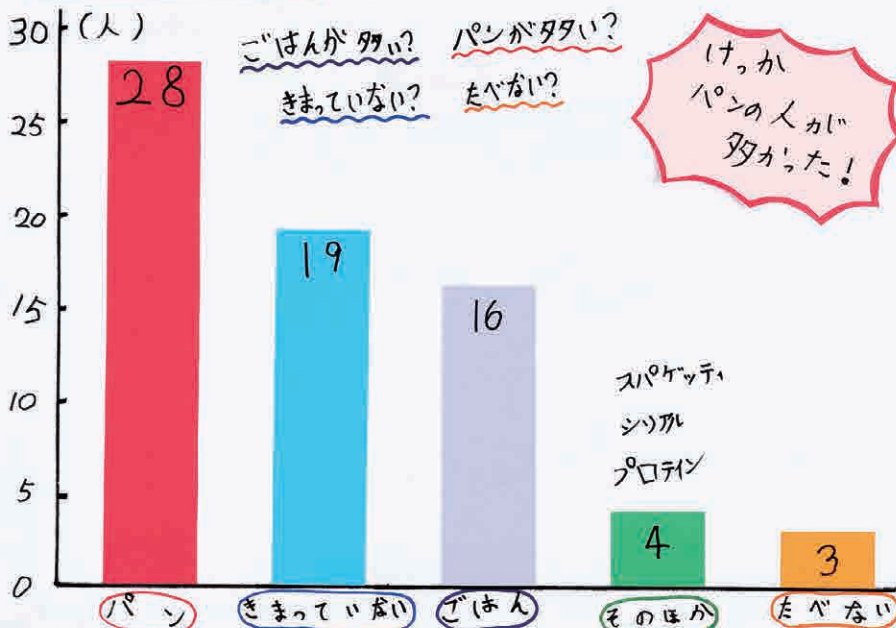
みんなの朝ごはん

4歳から70代
70人に
聞きました

きっかけ
朝ごはんをたべている
時にみんなはなにをたべて
いるのか気になったから。

よそ
ごはんは日本の
たやまとから
ごはんの方が
タタいと思う。

ちょうさ方法
学校の友だち
通じしの人
うちの会社の人
かぞくの友だち
インタビューする



ごはんがタタい?
きまっていない?

パンがタタい?
たべない?

け、か
パンの人か
タタいた!

- すぐたべられる
- 早く
- たべくたべたい
- コーヒーにあう
- さめてもおいしい
- ちかしサンドいぢやさんだったから

- その日のきぶん
- 前日ののりもの
- おやがつくいで休む

- カがでる
- みせるまのみた
- パンはすぐおなかがすく

- すきたから
- ちみじかすぎ
- さん皮のため

- じかんがない
- おなかがすかない
- のみものだけ

まとめ

たべない人がいることにびっくりした。
スパゲッティやプロテインが朝ごはんという人がいるとは思わなかった。
さんじよの人と話すのがたのしかった。「おはは、てね」とシャインマスカットを
もらってうれしかった。

(こうふし玉もろちく
山梨県山梨市小じょうたご入の
ちょうさ
おあ3年7月27日～8月27日)

山梨県のシンボル

県の鳥 うぐいす



春を告げる鳥として親しみ愛される鳥で、他の鳥のひなを育てるといった習性を持っているため「明朗と慈愛」を表しています。昭和39年6月制定

県の木 かえで



その葉は、秋、霜をうけて紅葉します。その様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」(虚子)などとよまれています。昭和41年9月制定

県の花 ふじざくら



きびしい富士の雪風に耐えて、つつましやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。昭和29年制定

県の獣 かもしか



高山のきびしい自然に耐えて生きているところが「忍耐・努力」を表しています。昭和39年6月制定

山梨県ロゴマーク



YAMANASHI

目次

山梨ってどんな県? 2

グラフでみるやまなし

自然・気象 4

人口 5

経済 7

事業所 8

工業 9

商業 11

農業 12

労働 13

物価 14

家計 15

福祉・医療 16

社会生活 17

教育 18

交通・通信・エネルギー 19

観光・国際交流 20

居住環境 21

災害・事故 22

統計グラフコンクール入賞作品集 23

表紙の説明

「みんなの朝ごはん」

「第69回山梨県統計グラフコンクール」知事賞の
山梨学院小学校2年 和泉 晃大さんの作品です。

山梨ってどんな県？

全国順位上位3以内の主なものを
分野別に掲載しました。

自然

■日照時間（年間）



令和2年度
全国2位 2,250.3時間

資料：統計でみる都道府県のすがた 2022(総務省統計局)

文化・スポーツ

■図書館数(人口100万人当たり)



平成30年度
全国1位 64.9館

資料：統計でみる都道府県のすがた 2022(総務省統計局)

■青少年教育施設数 (人口100万人当たり)



平成30年度
全国3位 17.1所

■多目的運動広場数(公共) (人口100万人当たり)



平成30年度
全国3位 166.5施設

資料：統計でみる都道府県の
すがた 2022(総務省統計局)

安全

■消防水利数 (人口10万人当たり)



令和元年度
全国1位 3,850.3所

資料：統計でみる都道府県の
すがた 2022(総務省統計局)

労働

■高齢就業者割合 (65歳以上)(対65歳以上人口)



平成27年度
全国2位 27.0%

資料：統計でみる都道府県の
すがた 2022(総務省統計局)

健康・医療

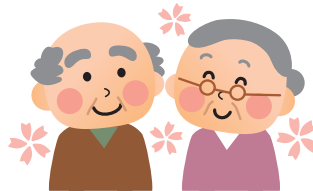
■保健師数 (人口10万人当たり)



平成30年度
全国3位 76.5人

資料：統計でみる都道府県のすがた 2022(総務省統計局)

■健康寿命

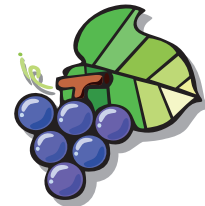


令和元年
男性 全国2位 73.57年
女性 全国2位 76.74年

資料：厚生科学審議会第16回健康日本21(第二次)推進専門委員会

農業

■ぶどう収穫量（年間）



令和2年
全国1位 35,000t

資料：作物統計調査（農林水産省）

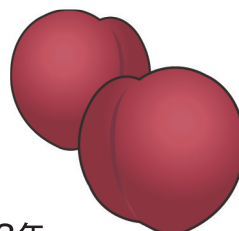
■もも収穫量（年間）



令和2年
全国1位 30,400t

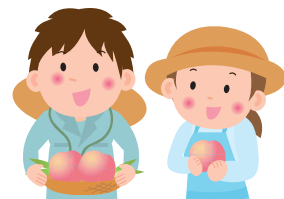
資料：作物統計調査（農林水産省）

■すもも収穫量（年間）



令和2年
全国1位 5,320t

■農産物販売金額1位の部門別 農業経営体数構成比(果樹類)



令和2年
全国1位 67.7%

資料：農林業センサス（農林水産省）

工業

■ワイナリー数



令和2年
全国1位

85事業所

資料：酒類製造業及び酒類卸売業の概況（国税庁）

■製成数量
日本ワイン



令和元年度
全国1位

5,503kl

■出荷額(年間)
ミネラルウォーター



令和元年
全国1位

682億円

資料：2020年工業統計調査（経済産業省）

家計

■事業所数
貴金属・宝石製装身具製品製造業

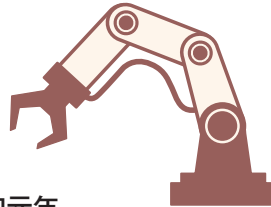


令和2年
全国1位

90事業所

資料：2020年工業統計調査（経済産業省）

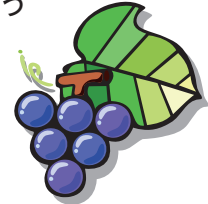
■出荷額(年間)
数値制御ロボット



令和元年
全国1位

2,402億円

■支出金額(1世帯当たり年間)
ぶどう



平成30年～令和2年平均
全国1位

7,448円

資料：家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング（統計調査課）

■支出金額(1世帯当たり年間)
まぐろ



平成30年～令和2年平均
全国2位

9,240円

■支出金額(1世帯当たり年間)
桃



平成30年～令和2年平均
全国2位

3,085円

■支出金額(1世帯当たり年間)
他の貝



※あさり、しじみ、かき、ほたて貝以外の貝類

平成30年～令和2年平均
全国3位

832円

資料：家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング（統計調査課）

社会生活

■1日の食事時間



平成28年
全国1位

1時間45分

■ボランティア活動のうち「障害者を対象とした活動」の行動者率(年間)



平成28年
全国1位

2.0%

■「ゲートボール」の行動者率(年間)



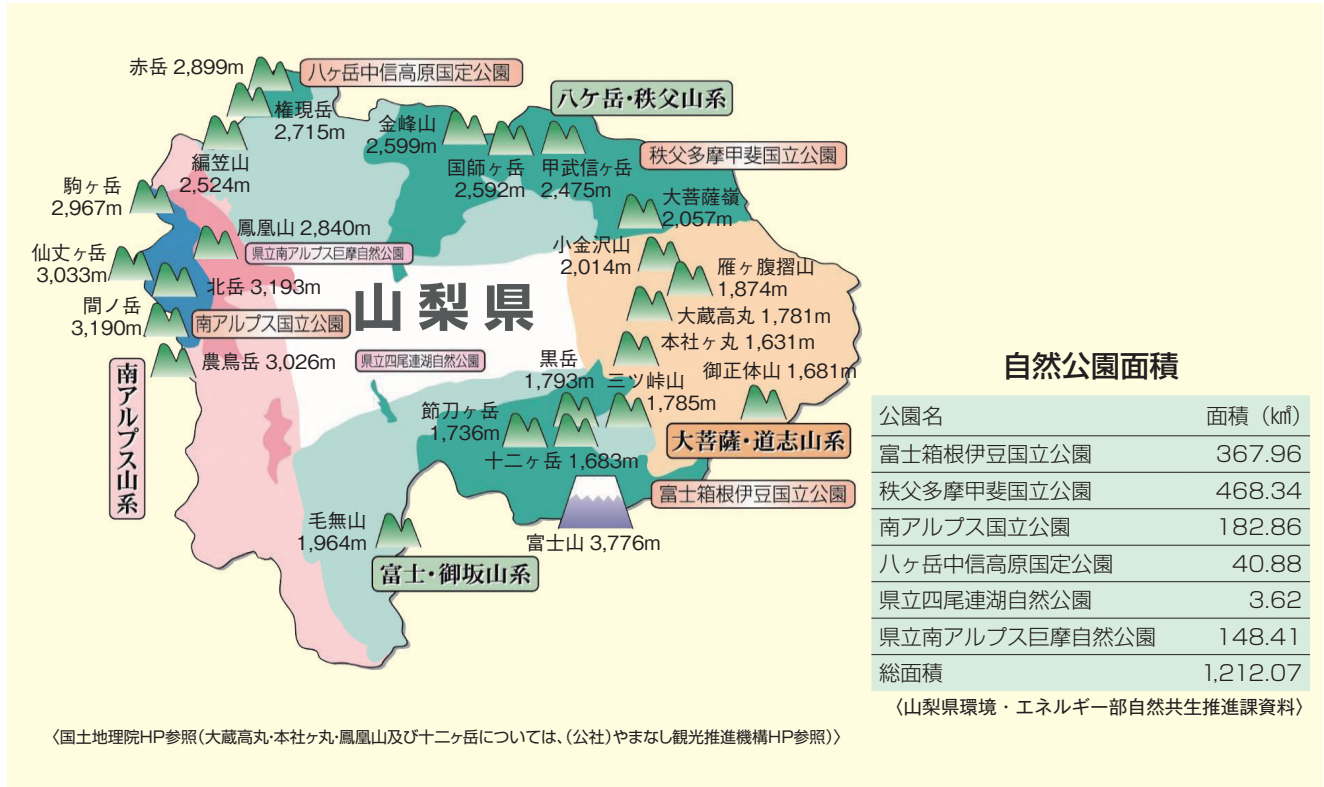
平成28年
全国2位

1.8%

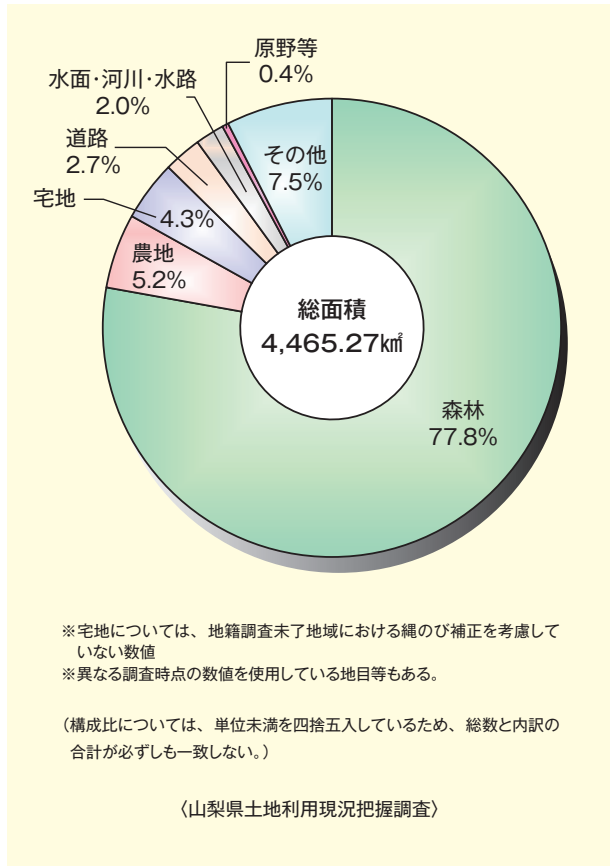
資料：平成28年社会生活基本調査結果報告書（統計調査課）

グラフでみるやまなし 自然・気象

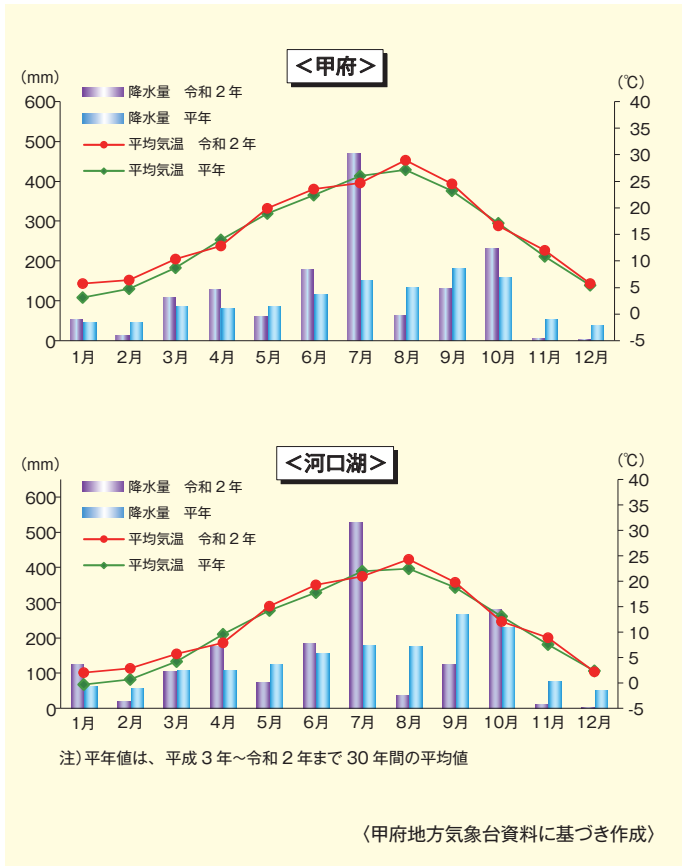
主な山梨百名山・自然公園面積



山梨県土地利用状況(令和2年10月1日)



月別平均気温と降水量(令和2年)

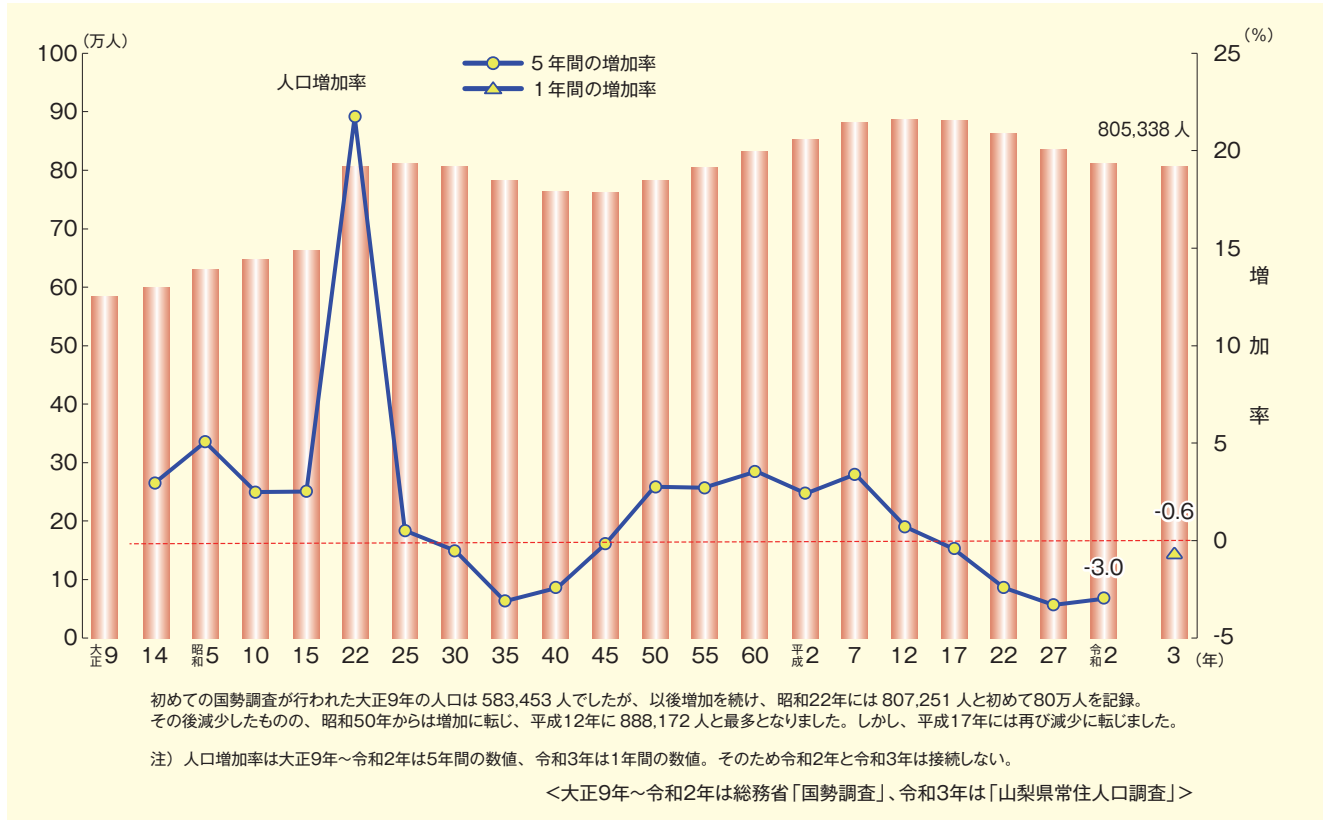


本県は、富士山をはじめ南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などを擁する日本でも有数の山岳県ですが、これらの山々の中からハイキングを楽しめる身近な山から本格的な登山向きの山まで多種多様な山を選び「山梨百名山」として紹介しています。

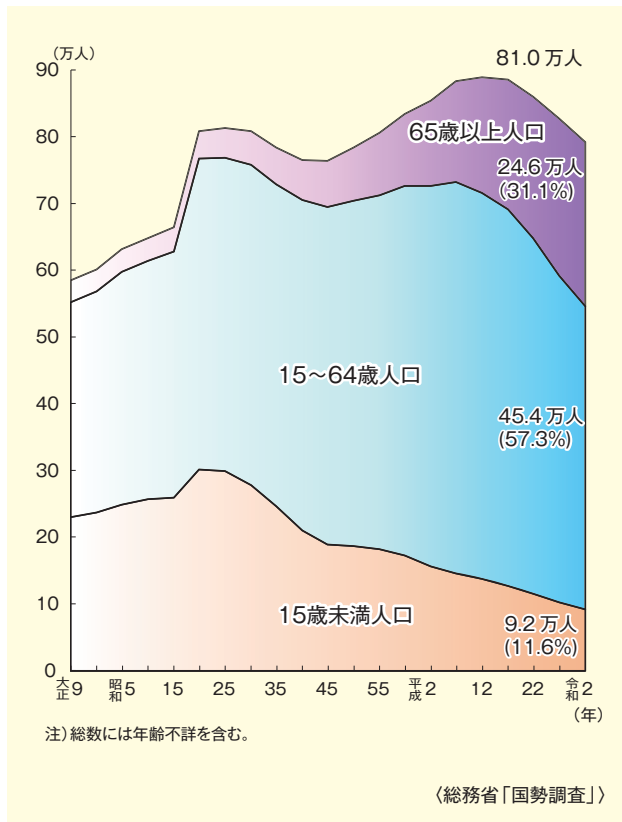
また、従来8月8日をやまなし「山の日」と定め、ふるさとの山や森を見つめ直し、その恩恵に感謝する日としてきました。平成28年からは8月11日が祝日「山の日」となり、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日となりました。

人口

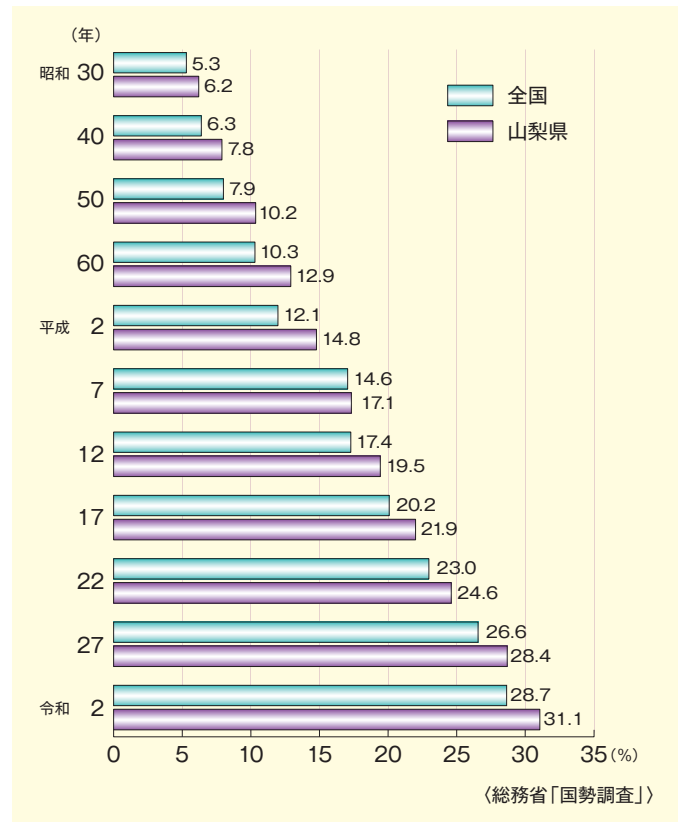
本県人口及び人口増加率の推移 (大正9年～令和3年)(人口は各年10月1日現在)



年齢別人口の推移 (大正9年～令和2年)



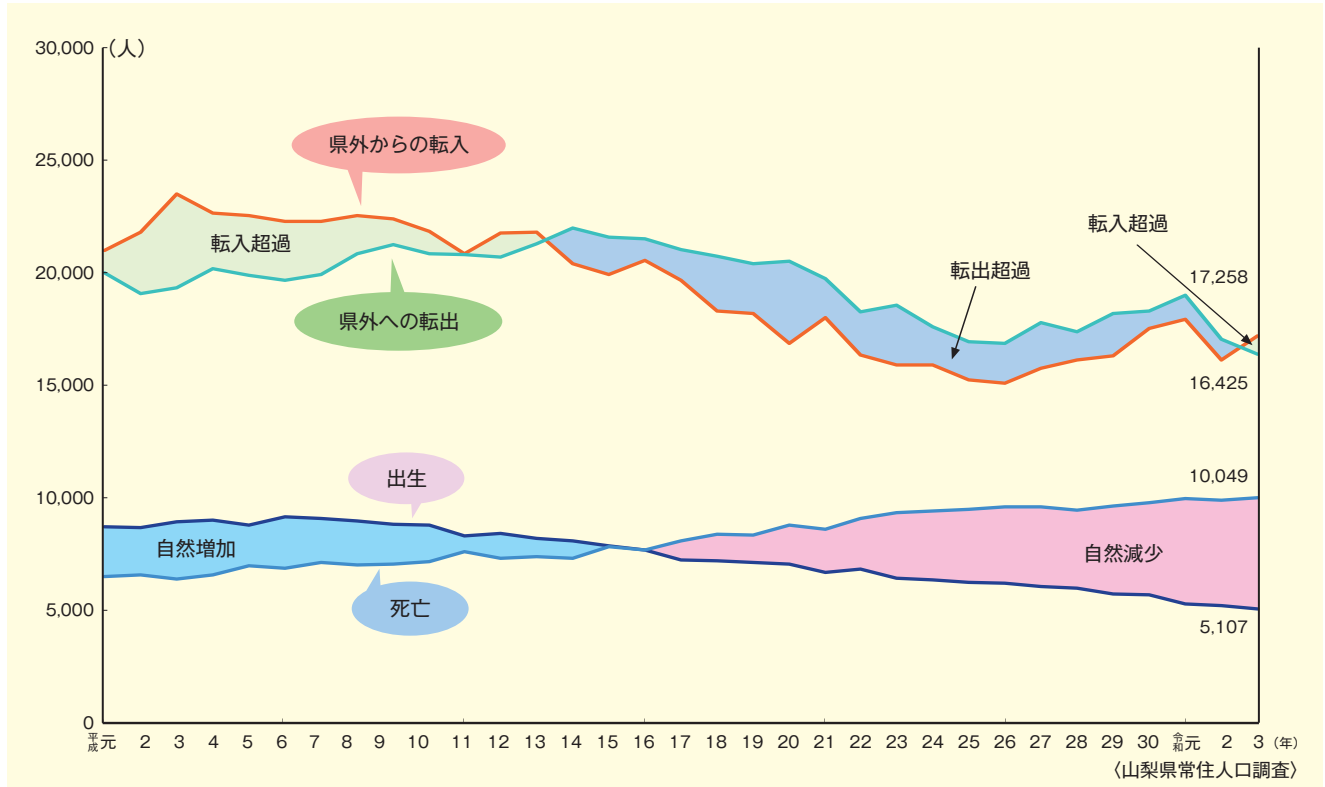
本県と全国の65歳以上人口割合の推移 (昭和30年～令和2年)



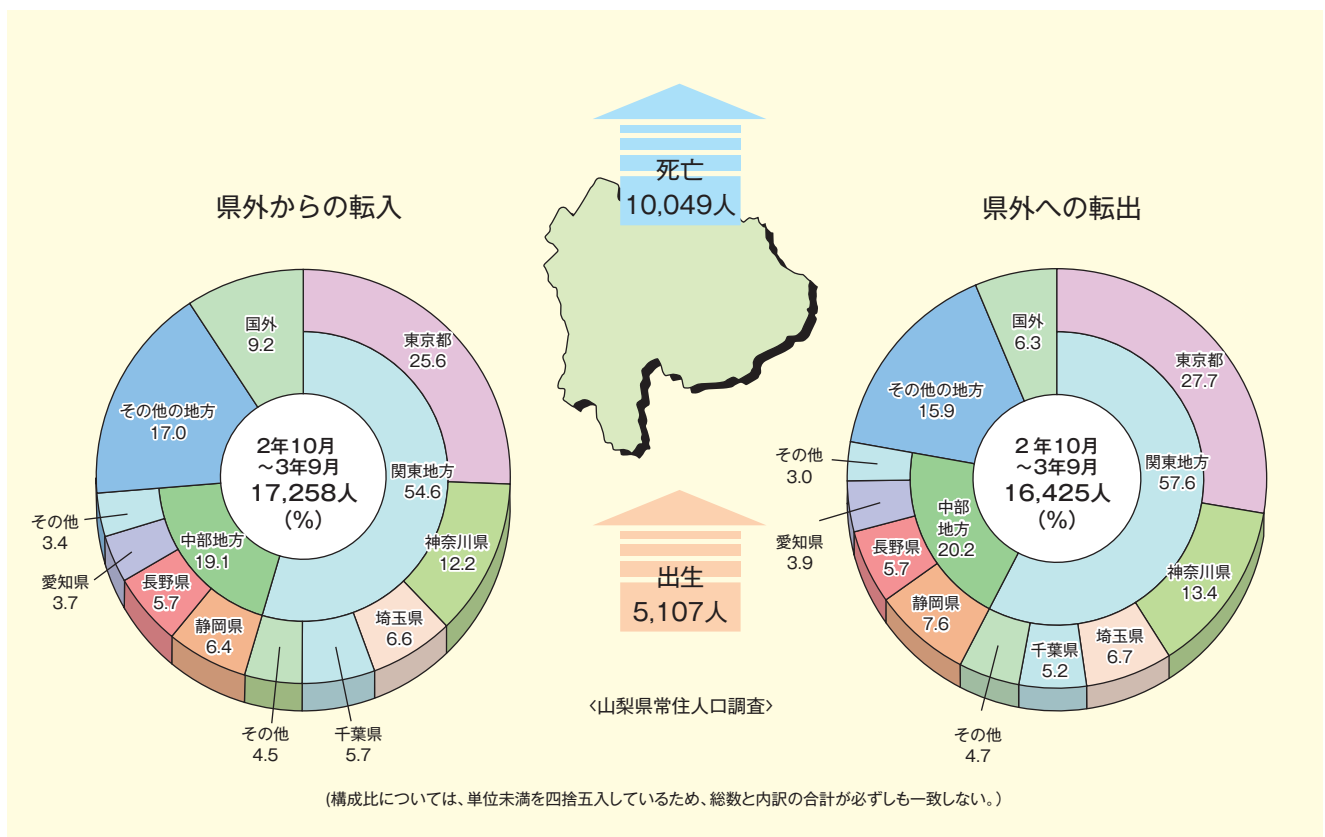
令和3年10月1日現在の人口は、80万5,338人となっています。

令和2年10月1日現在の人口を年齢別にみると、15歳未満人口9.2万人（11.6%）、15歳～64歳人口45.4万人（57.3%）、65歳以上人口24.6万人（31.1%）となっています。本県の65歳以上人口は、平成7年以降は15歳未満人口を上回ることとなり、令和2年には本県人口の4分の1を超えています。また、本県の65歳以上人口割合は、全国を上回る水準で推移しています。

人口動態の推移(各年ともに前年10月1日~当年9月30日)

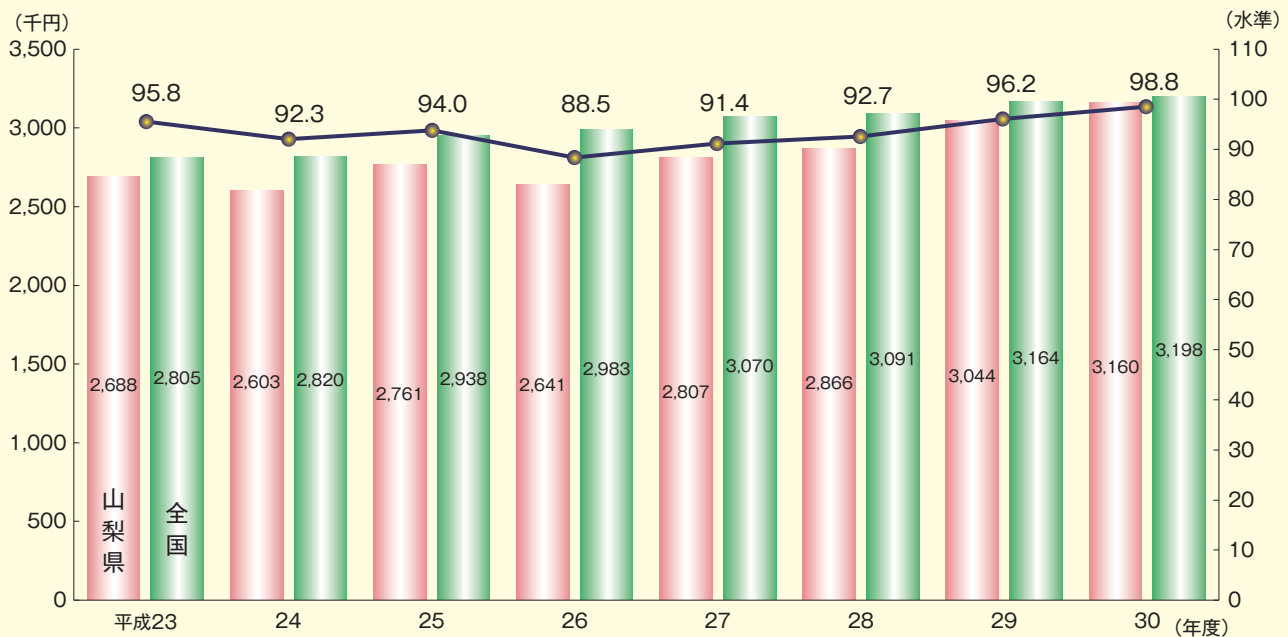


人口動態(令和2年10月1日~3年9月末)



令和2年10月1日から令和3年9月30日までの人口の動きをみると、出生5,107人、死亡10,049人で、4,942人の自然減となっています。また、県外からの転入者は17,258人、転出者は16,425人で、833人の転入超過となっています。また、東京都、神奈川県の転入、転出が多くなっています。

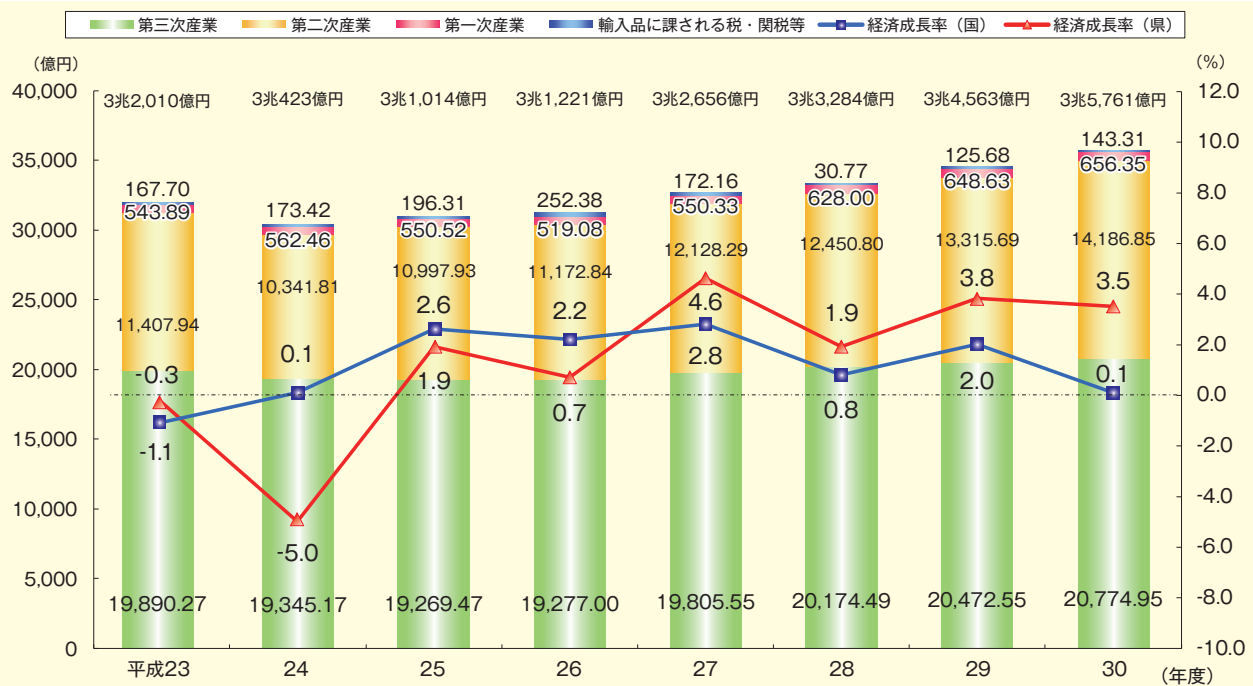
1人当たり県(国)民所得と全国との水準の推移



注) 1人当たり県民所得は、「県民雇用者報酬、財産所得、企業所得」により構成されている県民所得を総人口で除したものです。したがって個人の給与や実収入額などの比較はできません。
折れ線グラフは1人当たり国民所得を100とした場合の県民所得の水準の推移です。

〈平成30年度県民経済計算〉

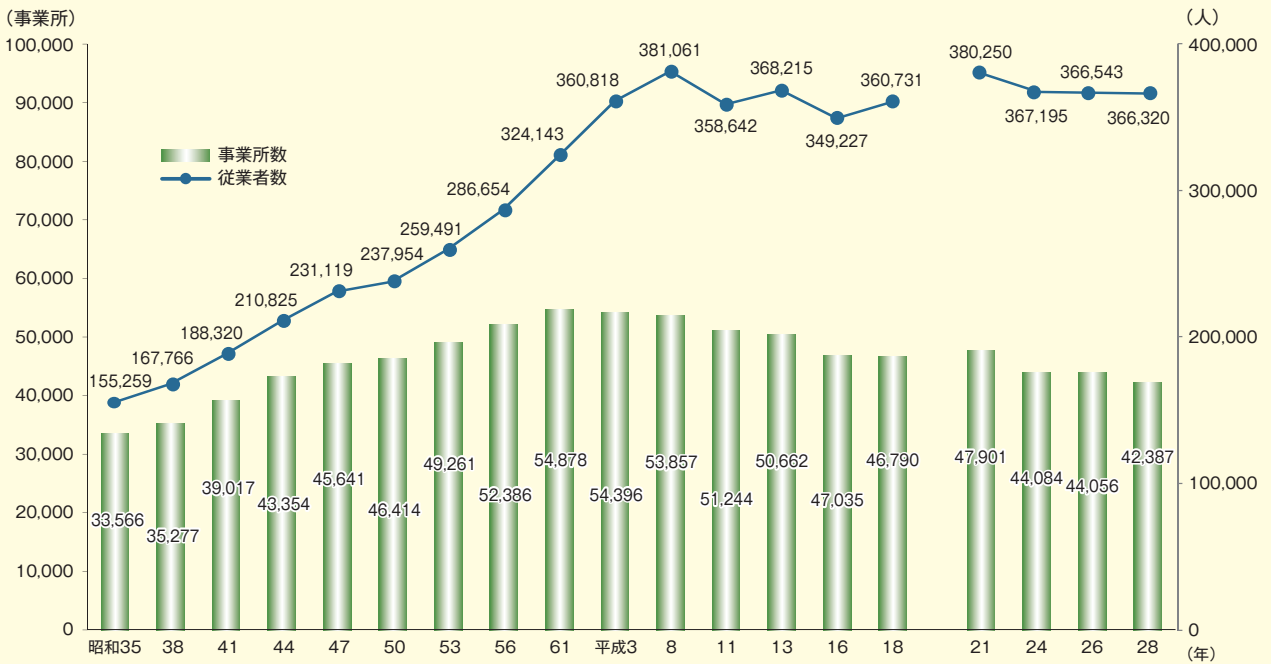
県内総生産の推移及び経済成長率の推移(名目)



〈平成30年度県民経済計算〉

平成30年度の県内総生産は、名目で3兆5,761億円で、前年度に比べて3.5% (1,199億円) の増加となりました。
1人当たり県民所得は3,160千円で、前年度に比べ11万6千円増加しました。また、1人当たり国民所得3,198千円を100とした水準は98.8となり、前年度に比べて2.6ポイント上昇しました。

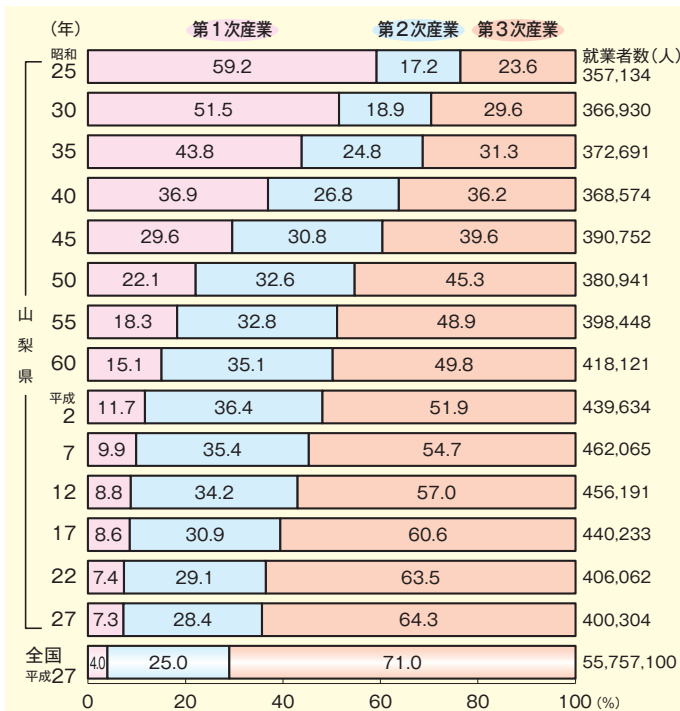
民営事業所数及び従業者数の推移



注) 事業内容等不詳事業所を除く。
平成21年において、調査手法の変更があったため、平成18年と平成21年は接続しない。

(総務省「事業所・企業統計調査」)
(平成21年から「経済センサス」)

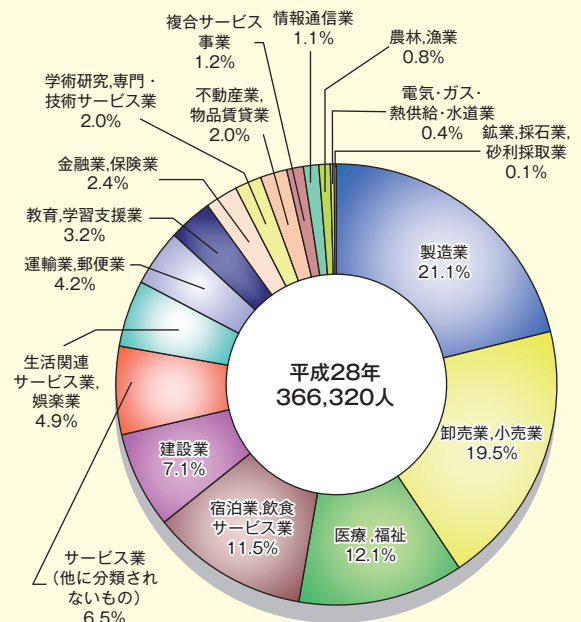
産業別(3部門)就業者数(構成比)の推移



(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

注) 分類不能の産業を除く。昭和25年には、14歳就業者を含む。(総務省「国勢調査」)

産業別従業者数構成比



(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

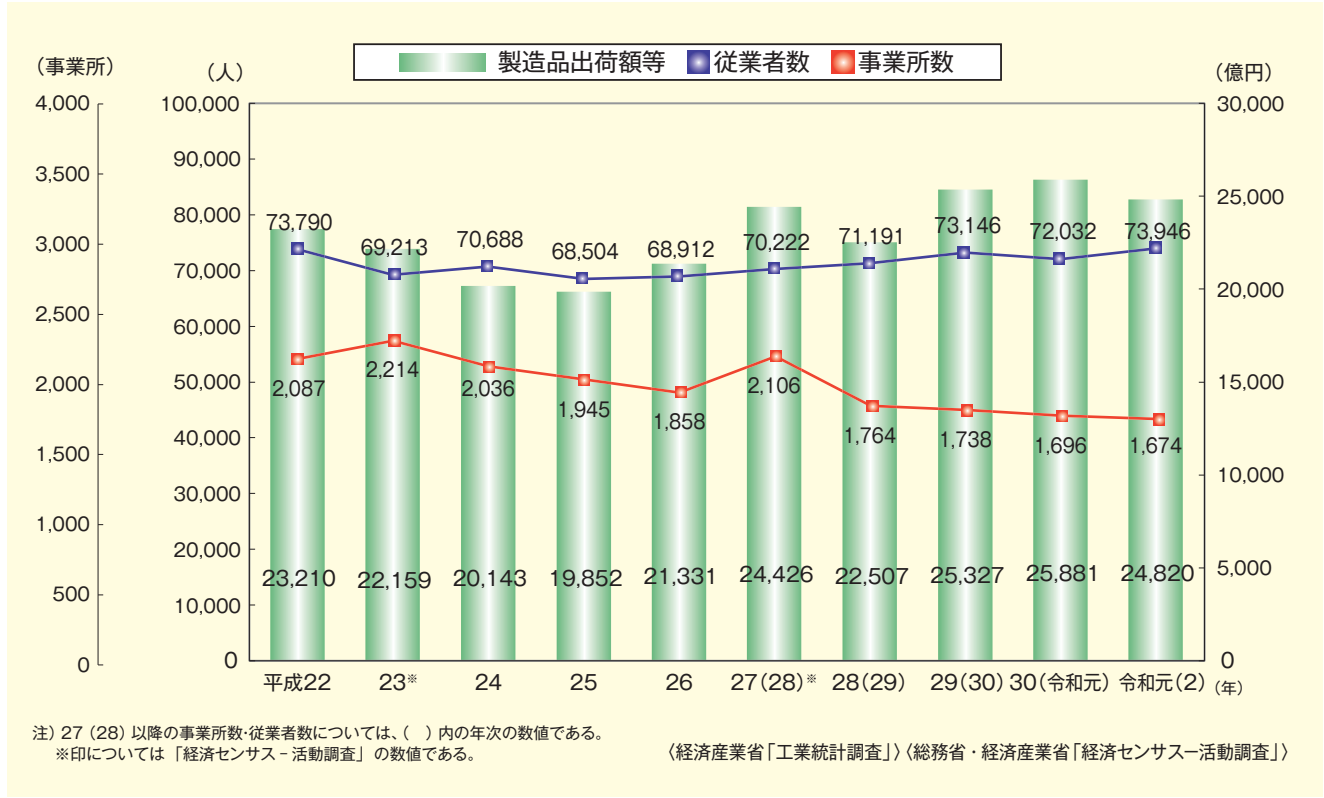
(総務省・経済産業省「平成28年経済センサス活動調査」)

平成28年の事業所数は42,387事業所で、昭和61年までは増加してきましたが、その後減少しています。また、産業別従業者数構成比をみると、製造業21.1%、卸売業、小売業19.5%、医療、福祉12.1%の順となっています。

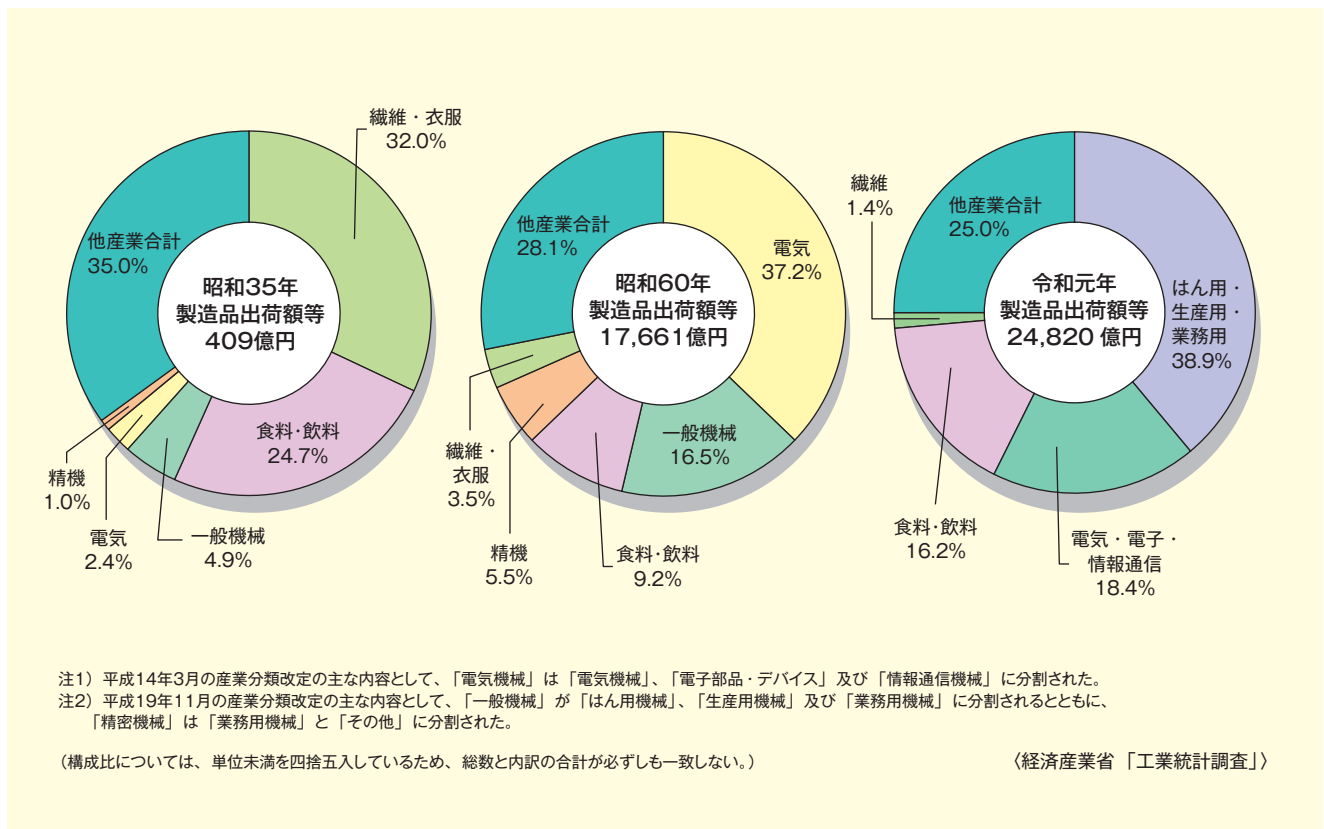
本県の産業別就業者数をみると、昭和25年は、第1次産業が全体の59.2%を占めていましたが、平成27年は、第1次産業は7.3%にまで減少し、この間に第3次産業が23.6%から64.3%へと増加しています。

工業

製造業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移 (従業者4人以上の事業所)



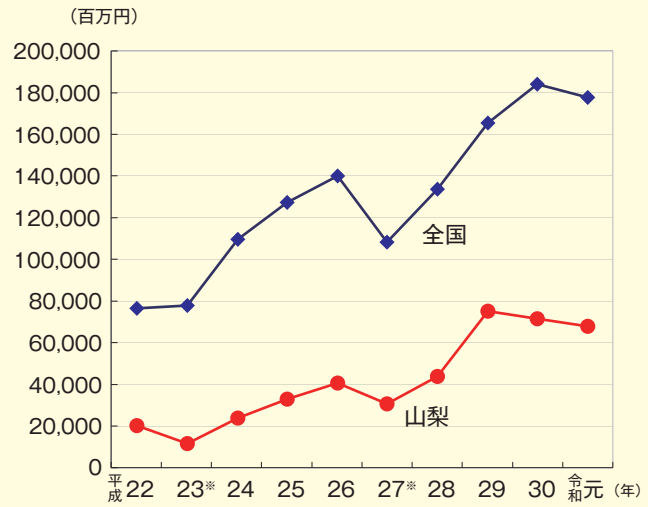
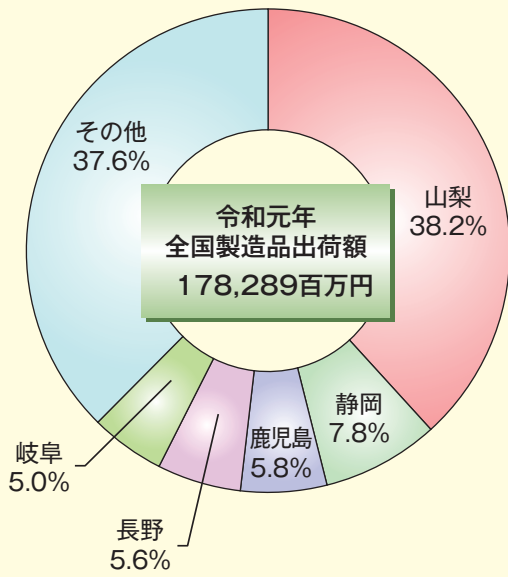
産業別製造品出荷額等の構成の変化 (従業者4人以上の事業所)



令和2年の従業者4人以上の製造業の事業所数は1,674事業所で、前年に比べ減少しましたが、従業者数は73,946人で、前年と比べ増加しました。また、令和元年一年間の製造品出荷額等は2兆4,820億円で、前年に比べ減少しました。

産業分類の改定により単純な比較はできませんが、産業分類別の製造品出荷額等をみると、昭和35年は繊維・衣服が全体の約3分の1を占めていました。令和元年は、はん用・生産用・業務用と電気・電子・情報通信の合計が全体の約6割を占めています。

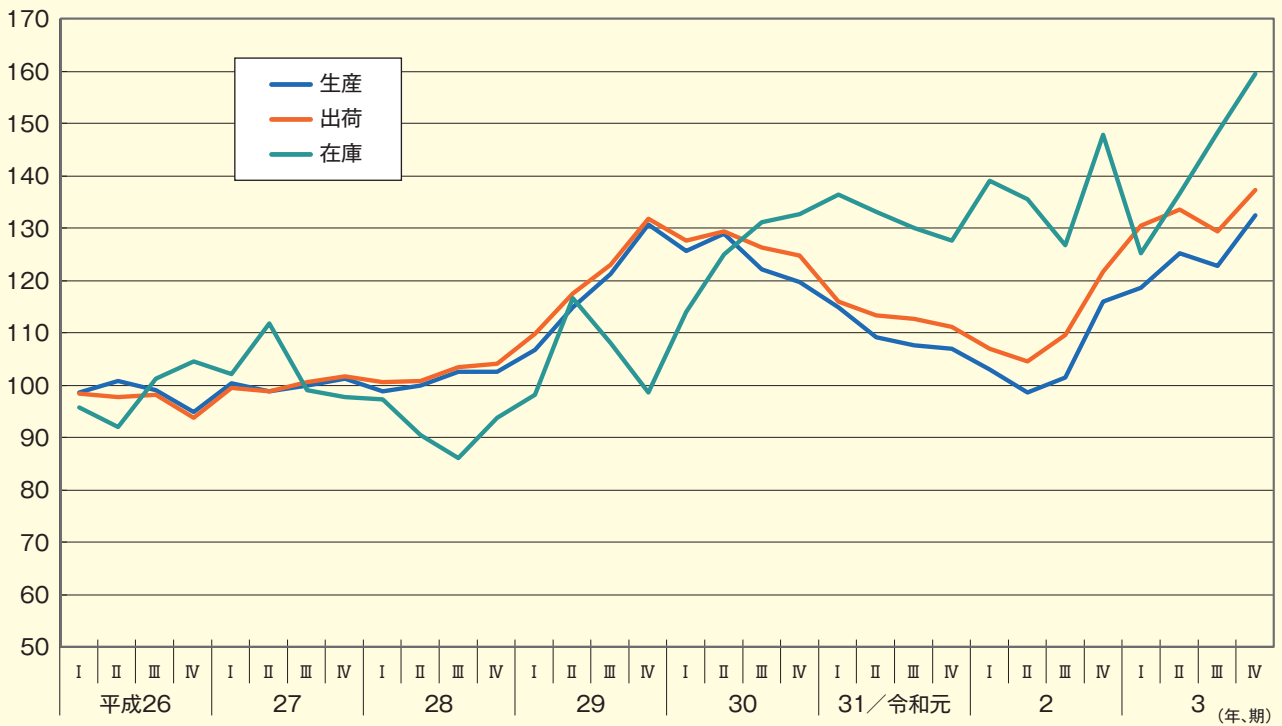
製造品出荷額全国1位「ミネラルウォーター」出荷額の推移(従業者4人以上の事業所)



注)「その他」には、数値非公表の県を含む。
 ※印については「経済センサス-活動調査」の数値である。

(経済産業省「工業統計調査」)(総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」)

鉱工業指数の推移(平成27年=100 季節調整済)

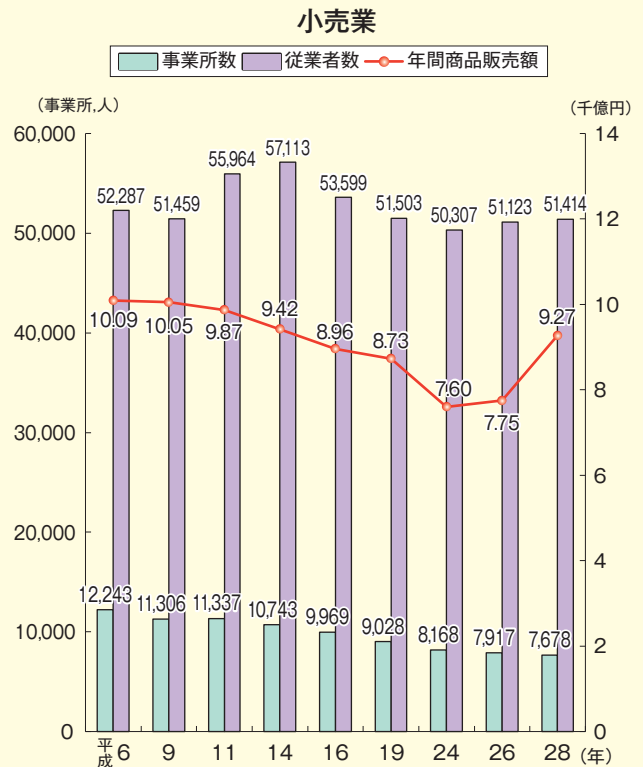
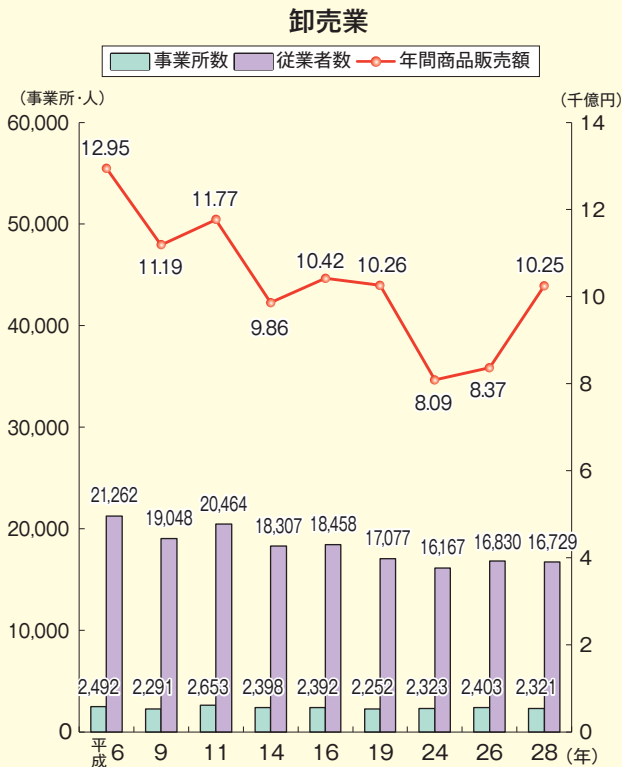


(山梨県鉱工業指数)

令和元年の品目別製造品出荷額をみると、本県はミネラルウォーターの出荷額が日本一となっており、全国の出荷額の38.2%を占めています。

鉱工業指数の推移をみると、生産及び出荷は、平成28年II期頃から上昇を続け、平成29年度IV期をピークにして低下傾向にありましたが、令和2年II期を境に再び上昇に転じています。

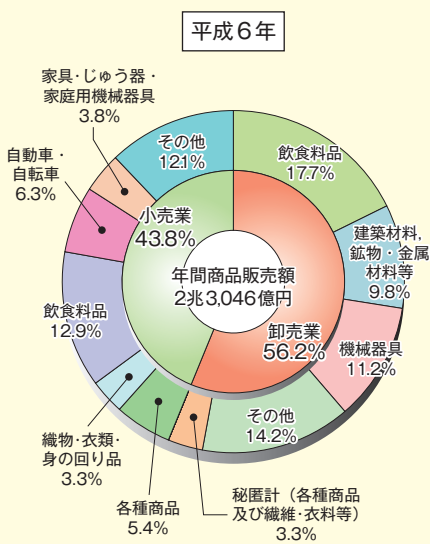
商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



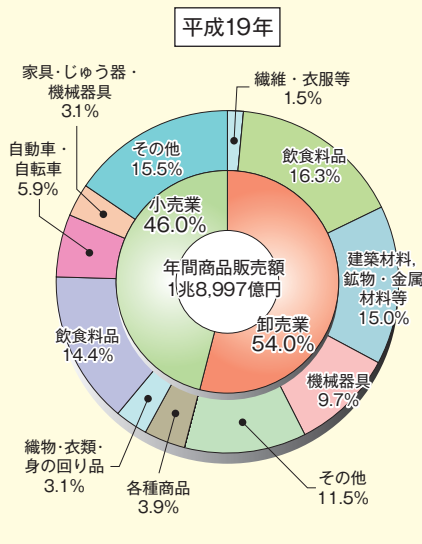
注) 平成19年以前及び平成26年の数値は商業統計調査、平成24年及び平成28年の数値は経済センサス-活動調査の数値である。
平成24年、26年及び28年の数値は、管理・補助的経済活動を行う事業所、産業細分類の活付不能の事業所等を含む。

〈経済産業省「商業統計調査」〉
〈総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」〉

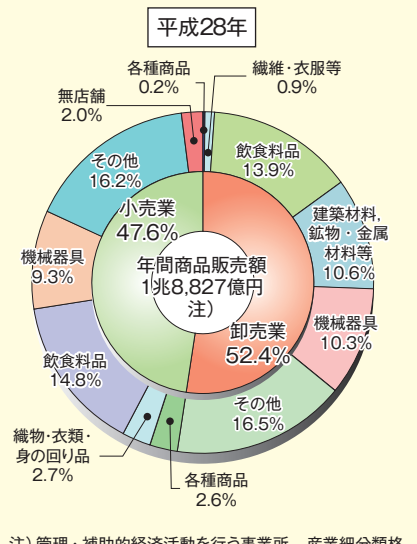
業種別年間商品販売額構成比の推移



〈経済産業省「商業統計調査」〉



〈経済産業省「商業統計調査」〉



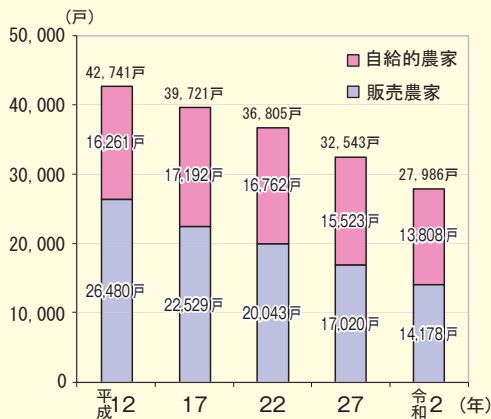
注) 管理・補助的経済活動を行う事業所、産業細分類格付不能の事業所等を含まない数値のため、「商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移」の数値とは合致しない。

〈総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」〉

(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

平成28年の卸・小売業数は9,999事業所、従業者数は68,143人、年間商品販売額は1兆9,526億円となっています。業種別年間商品販売額の構成比の推移をみると、卸売業の割合が減少しています。平成28年では新たな業態である無店舗小売業が2.0%となっています。

農家数の推移

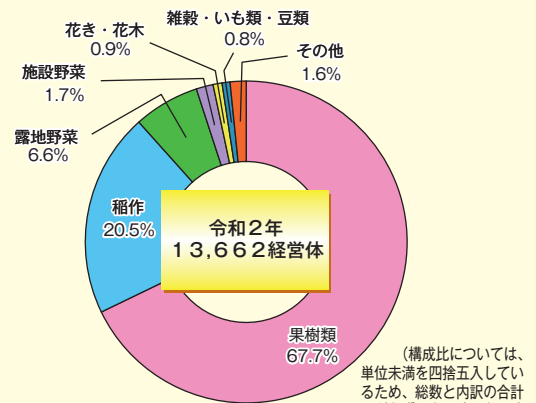


販売農家 農家のうち、経営耕地面積が30アール以上又は過去1年間の農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

自給的農家 農家のうち、経営耕地面積が30アール未満で、かつ、過去1年間の農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

< 農林水産省 世界農林業センサス・農林業センサス >

農産物販売金額1位の部門別農業経営体数構成比

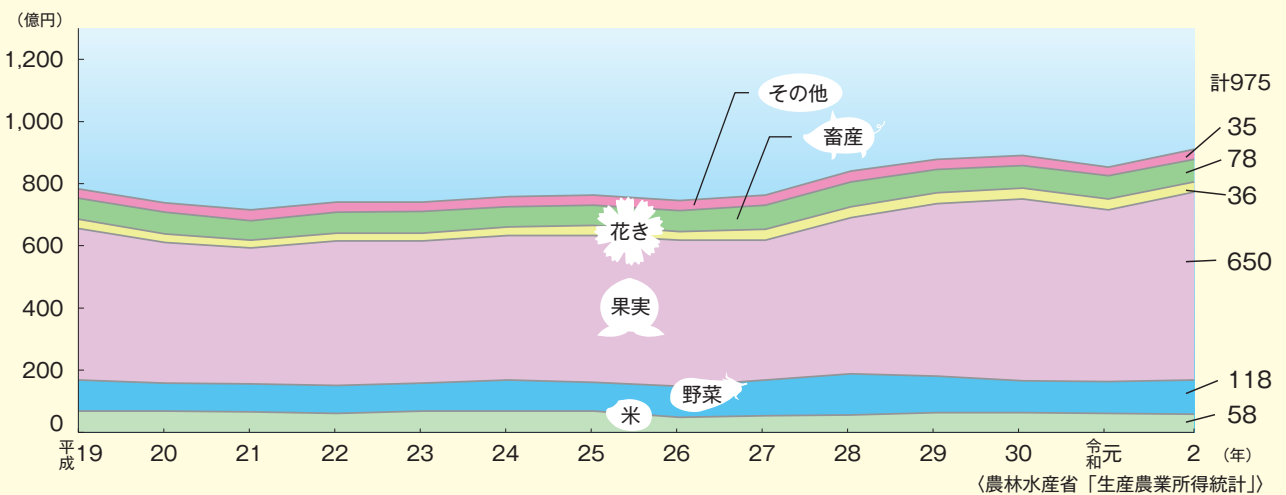


農業経営体 次のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

- 1 経営耕地面積が30アール以上の規模の農業
- 2 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が一定の基準以上の農業
- 3 農作業の受託の事業

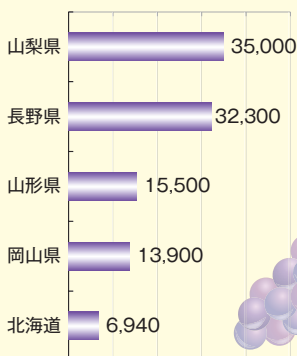
< 農林水産省 農林業センサス >

農業産出額の推移

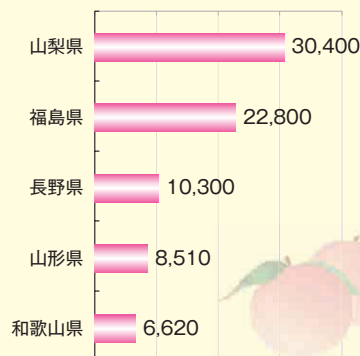


ぶどう・もも・すももの収穫量(令和2年)

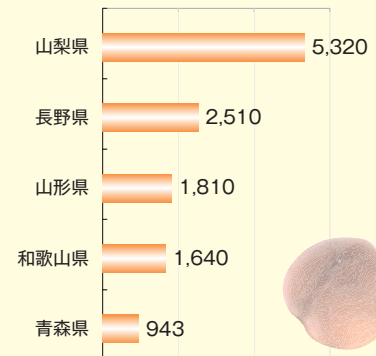
ぶどう (t)



もも (t)



すもも (t)



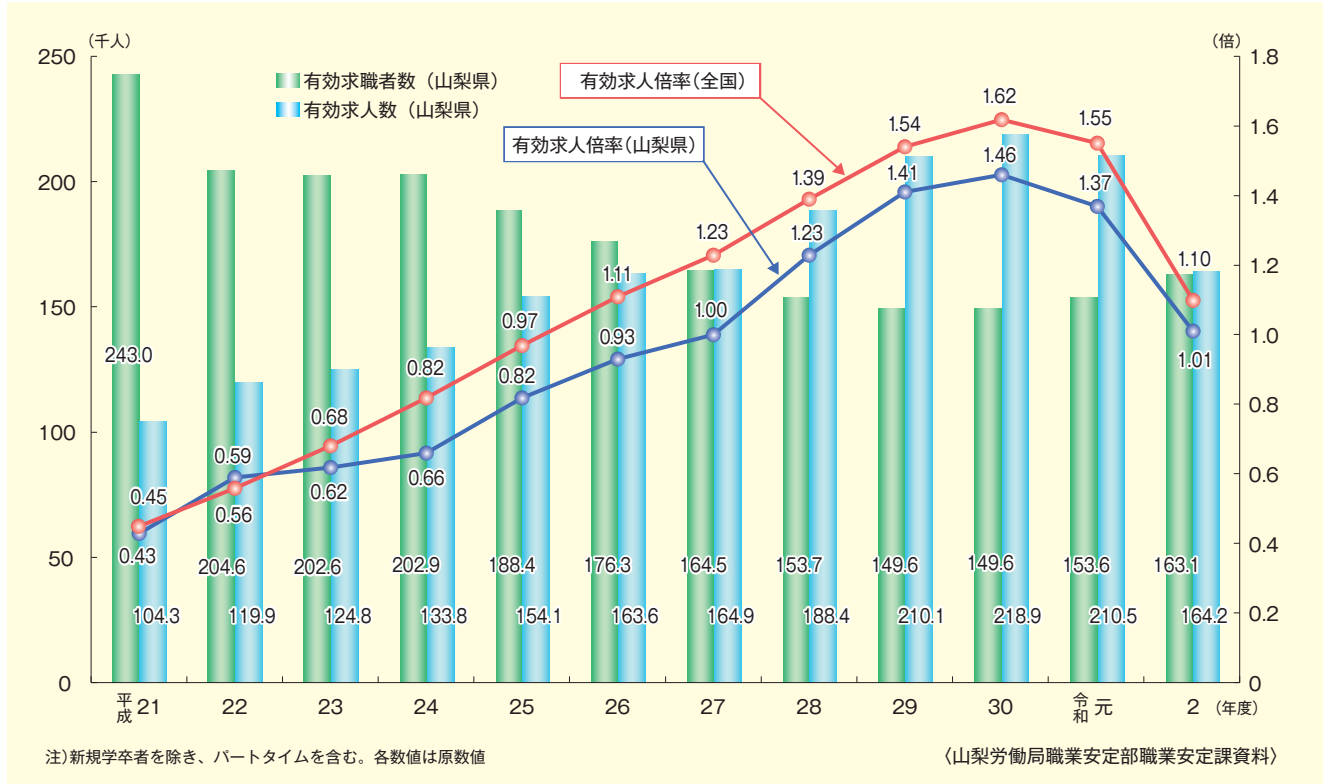
< 農林水産省「作物統計調査」 >

令和2年の本県の農家数は、27,986戸で、平成27年と比べ4,557戸減少しています。また、農産物販売金額1位の部門別経営体数構成比をみると、果樹類が67.7%、稲作20.5%、露地野菜6.6%の順となっています。

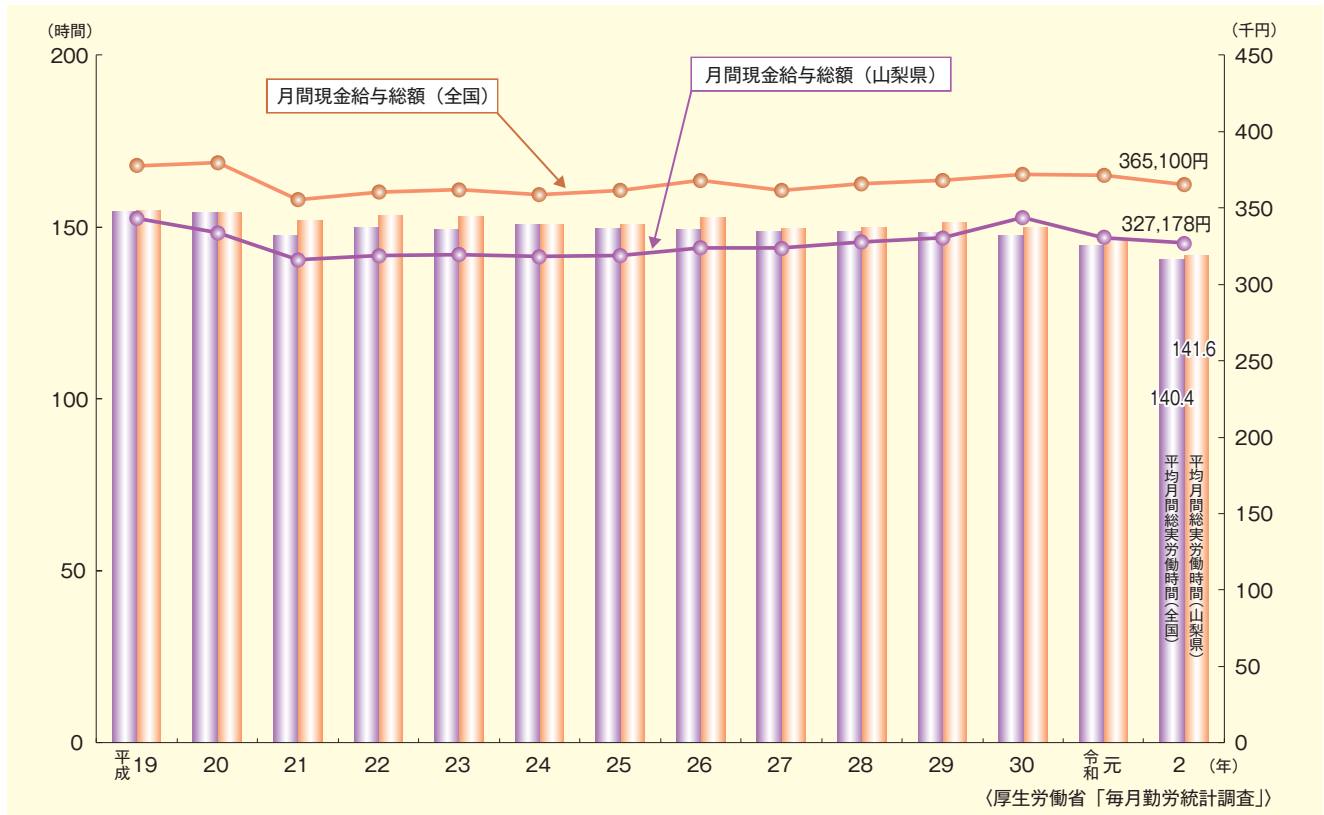
令和2年の農業産出額の割合は、果実が全体の66.7%を占め、次いで野菜12.1%、畜産8.0%、米5.9%、花き3.7%の順となっています。また、果実のうち「ぶどう」「もも」「すもも」の収穫量は、日本一となっています。

労働

有効求人倍率・求職者数・求人数の推移



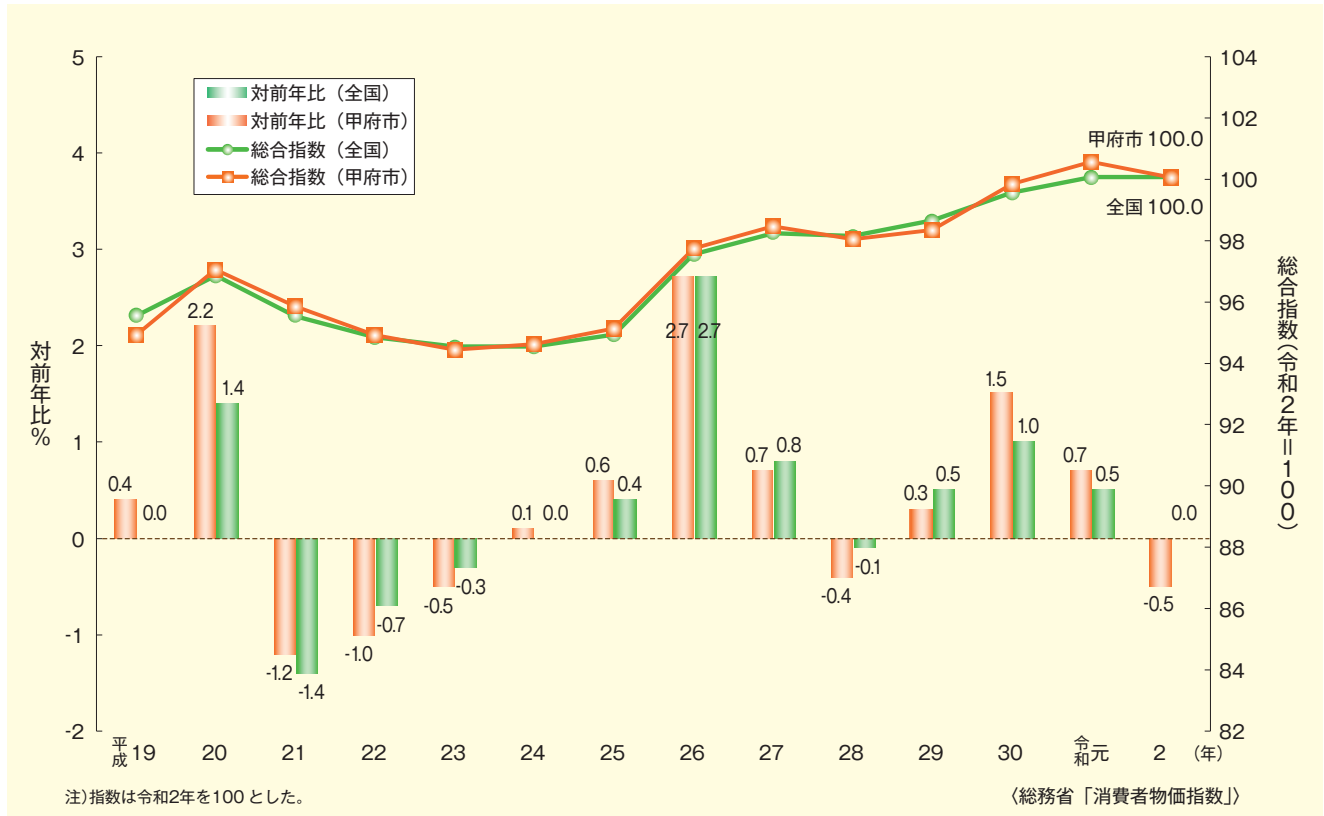
労働者 1 人当たり平均月間総実労働時間と現金給与総額の推移(30人以上の事業所)



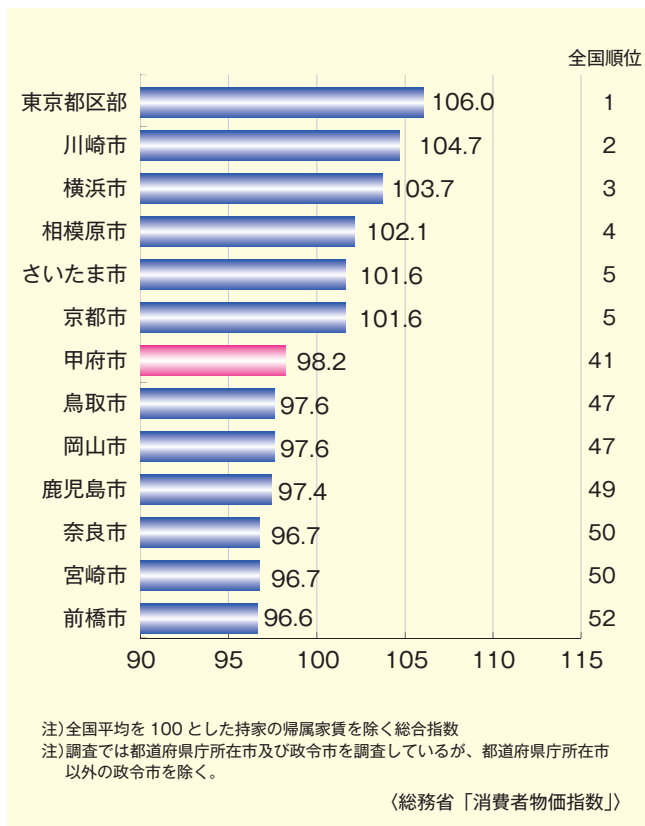
令和2年度の有効求職者数は、16万3,117人で、前年に比べて9,480人(6.2%)増加、有効求人数は、16万4,175人で、前年に比べて4万6,286人(22.0%)減少、有効求人倍率は1.01倍で、前年に比べて0.36ポイントの低下となりました。

令和2年の労働時間は、労働者1人当たりの平均月間総実労働時間141.6時間で、全国平均の140.4時間を1.2時間上回っています。一方、月間現金給与総額は、327,178円で全国平均の365,100円を37,922円下回っています。

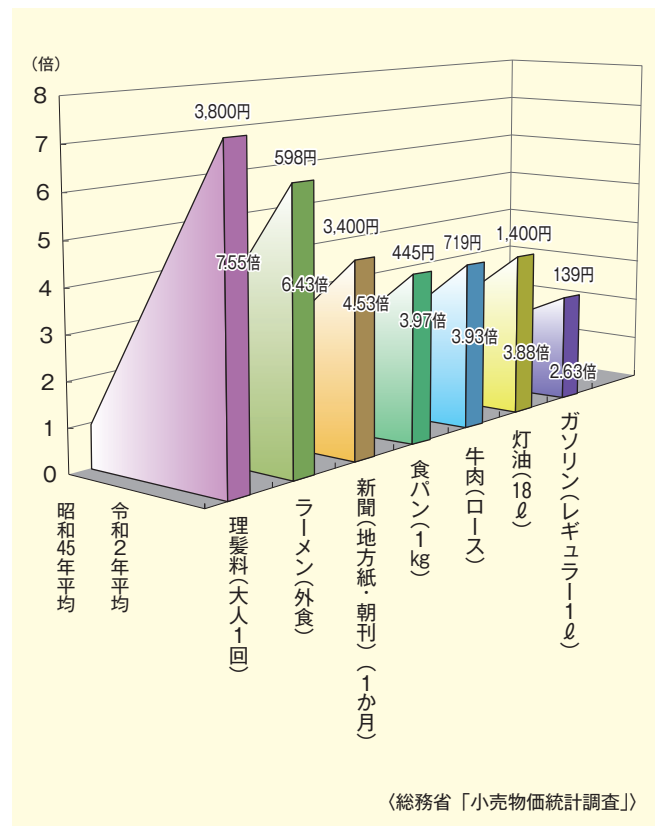
消費者物価指数の推移 (各年平均)



消費者物価地域差指数 (令和2年平均)



令和2年と昭和45年の小売物価の比較 (甲府市)

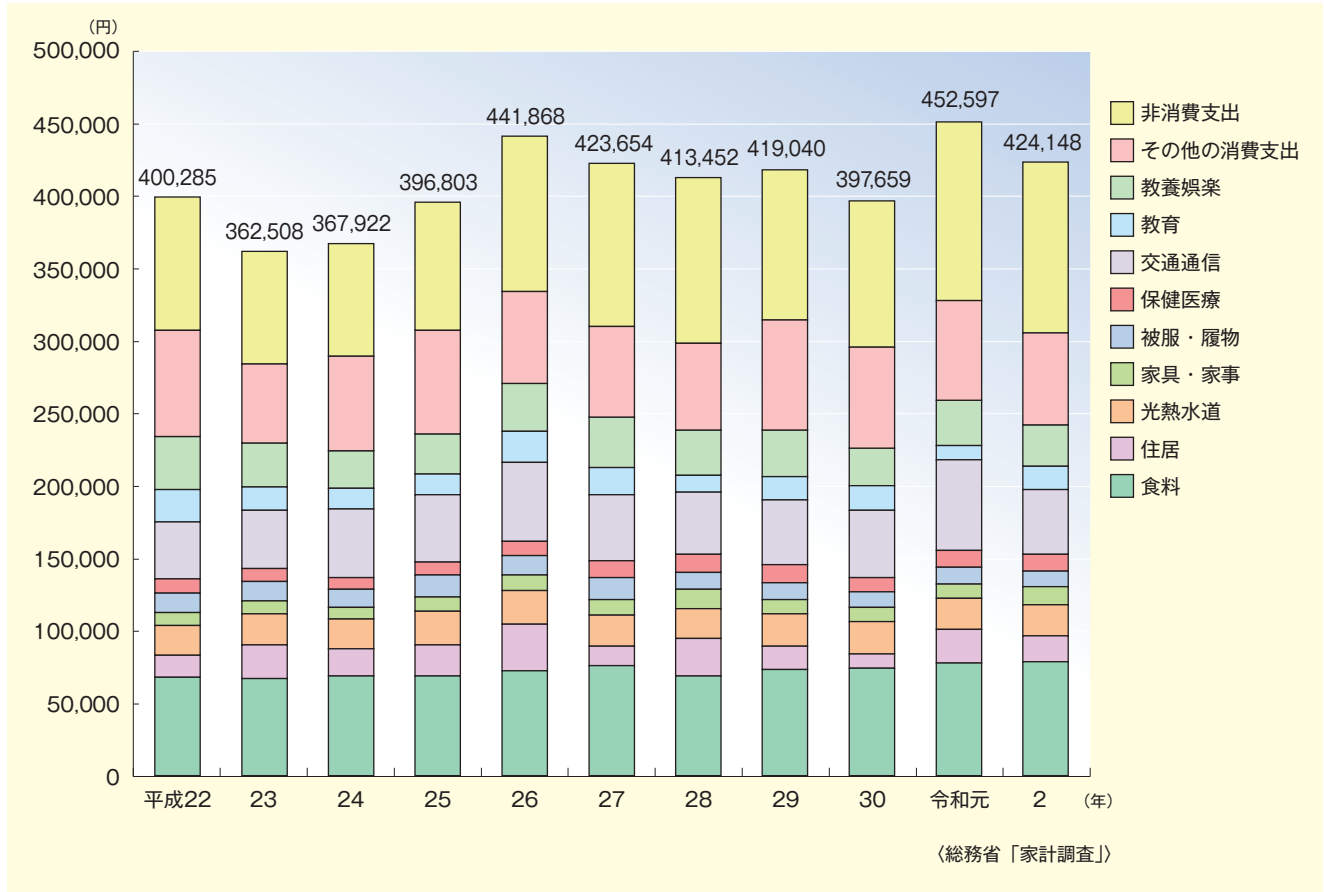


令和2年平均の甲府市の物価全体の変動を示す総合指数は基準年のため、100.0 (令和2年=100) となり、前年比 0.5% の下落となりました。物価水準の地域間の格差を示す地域差指数は98.2 (全国平均=100) となり、物価水準の最も高い東京都区部に比べ7.8ポイント低くなっています。

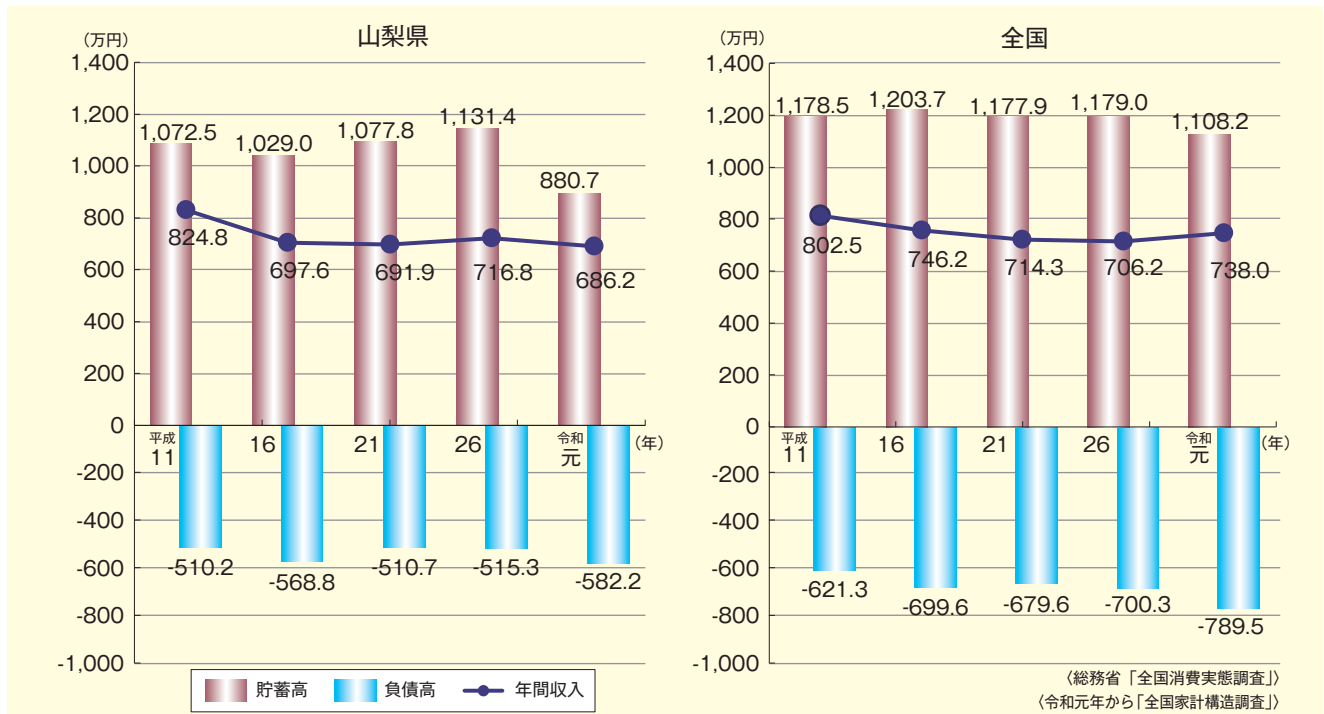
令和2年平均の小売価格を昭和45年平均と比較すると、理髪料は7.55倍、ラーメン(外食)は6.43倍、新聞は4.53倍などとなっています。

家計

勤労者世帯1世帯当たり1か月間の支出(甲府市)



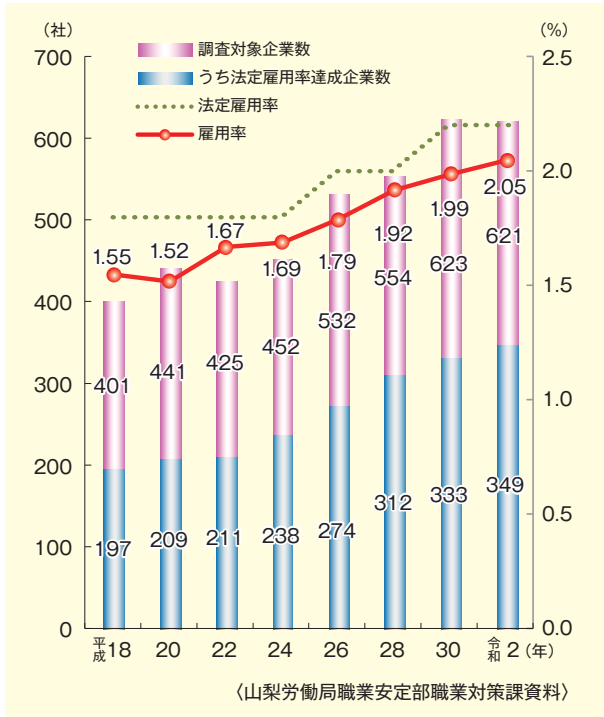
勤労者世帯1世帯当たり年間収入・貯蓄・負債残高の推移(各年11月末日現在)



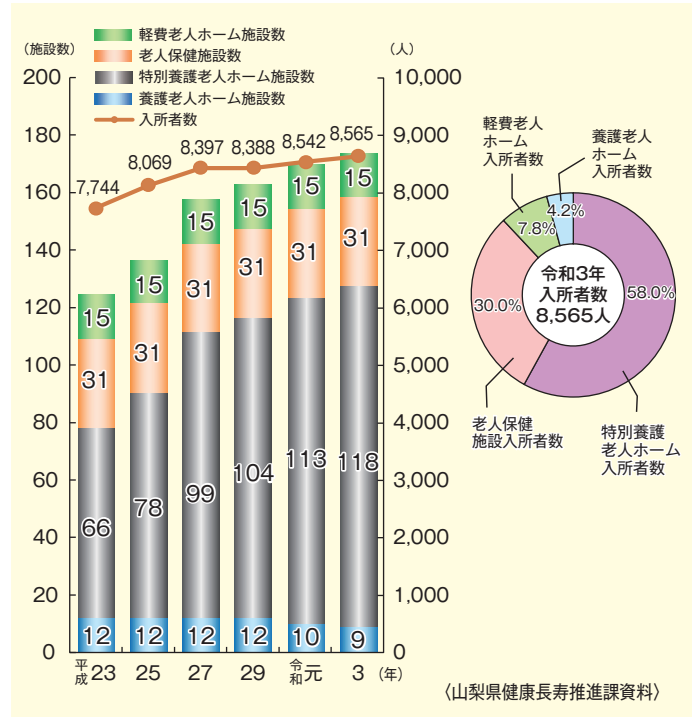
令和2年の甲府市における勤労者世帯1世帯当たり1か月間の実支出は424,148円で、所得税、住民税、年金掛金、健康保険料などの非消費支出が27.8%（118,063円）、消費支出は全体の72.2%（306,085円）となっています。

令和元年における山梨県の勤労者世帯1世帯当たりの貯蓄現在高は880万7千円、負債現在高は582万2千円となっています。

障害者雇用率等の推移(民間企業)(各年6月1日現在)



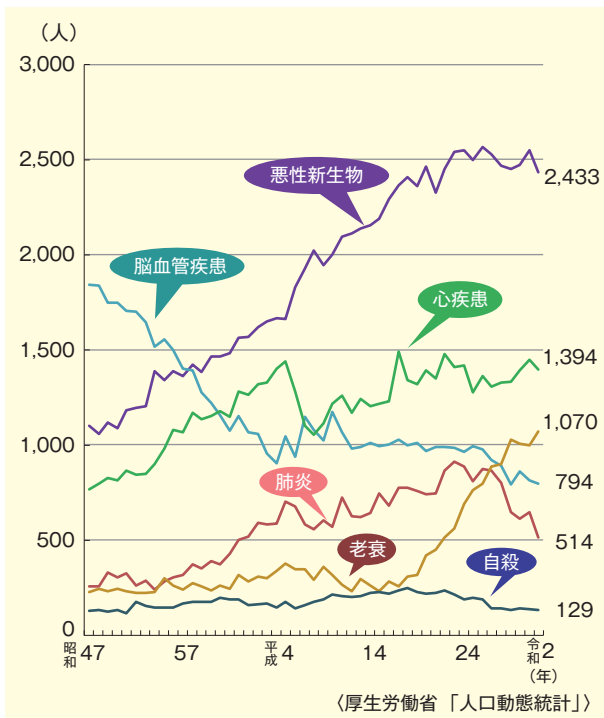
老人関係施設入所者数の推移(各年8月1日現在)



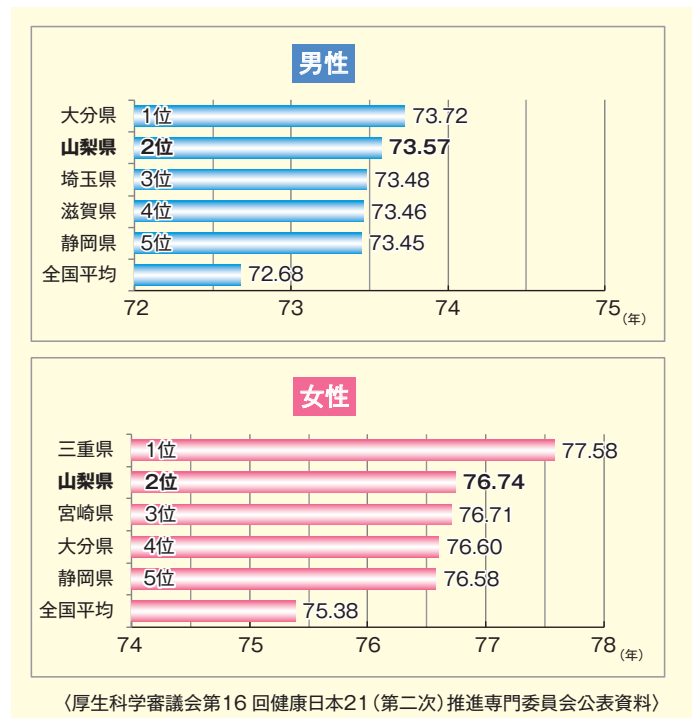
本県の障害者雇用率は令和2年6月1日現在2.05%であり、法定雇用率の2.2%を0.15ポイント下回っています。また、法定雇用率を達成している企業は349社で、達成率は56.2%となっています。

令和3年8月1日現在の老人関係施設の入所者数は8,565人で、2年前より23人(0.3%)増加しています。また、施設数は173施設で、平成23年と比べると49施設(39.5%)増加しています。

主な死因別死亡者数の推移



健康寿命(令和元年)

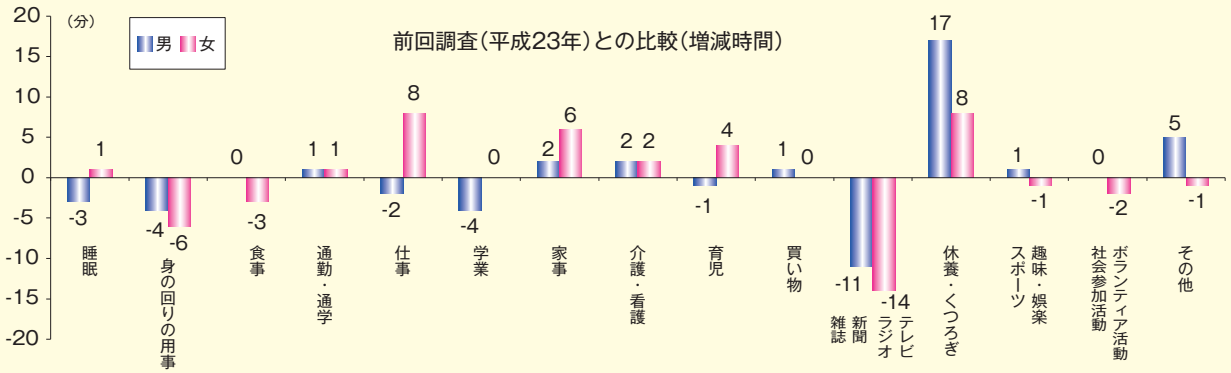
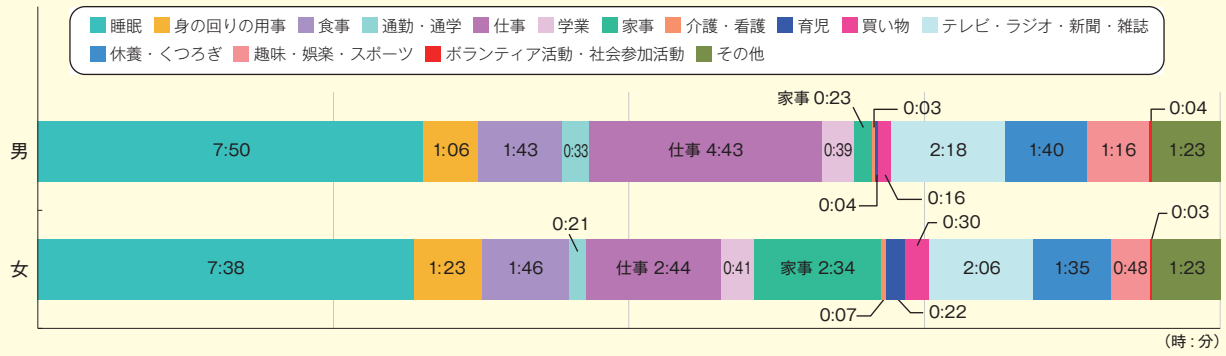


令和2年の本県の死亡者を主な死因別にみると、悪性新生物、心疾患、老衰の順となっています。

本県の健康寿命は、男性73.57年、女性76.74年で、いずれも全国平均72.68年、75.38年を上回り全国第2位です。(健康寿命とは、国の健康増進計画である健康日本21(第二次)において、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。)

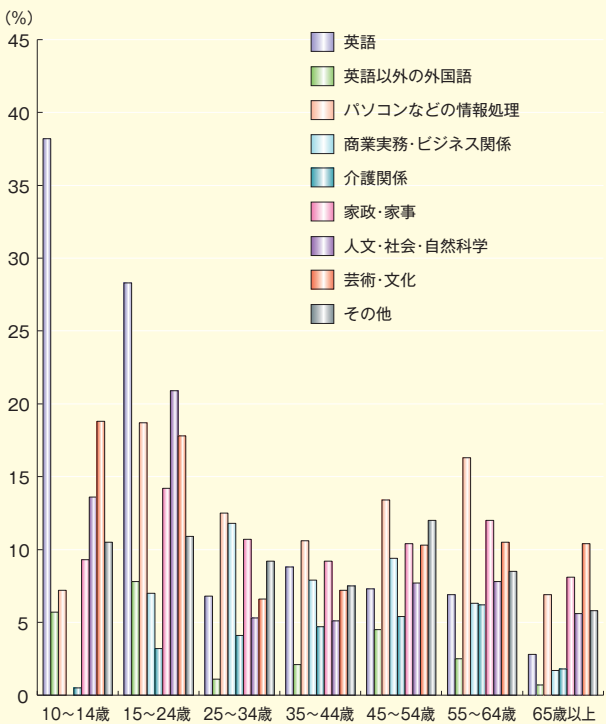
社会生活

生活行動の種類別平均時間



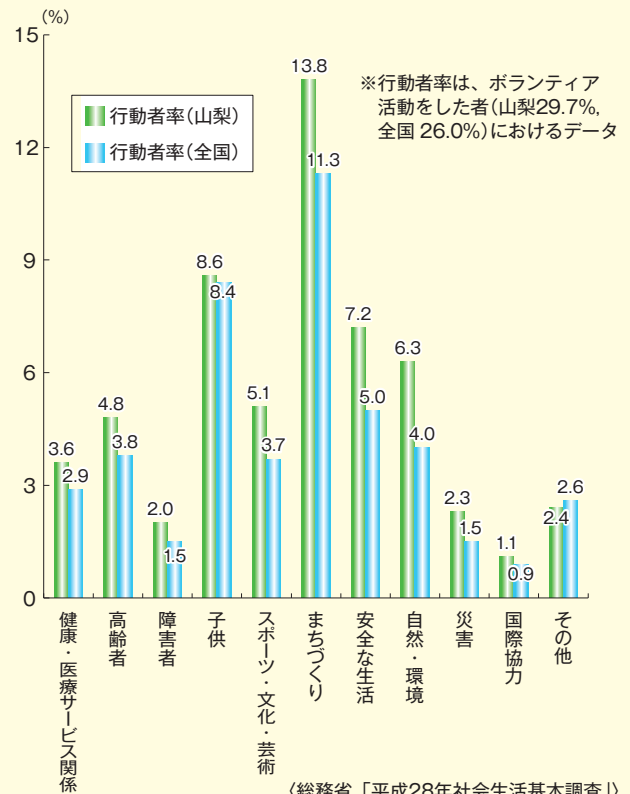
〈総務省「平成28年社会生活基本調査」〉

学習・自己啓発・訓練の行動者率



〈総務省「平成28年社会生活基本調査」〉

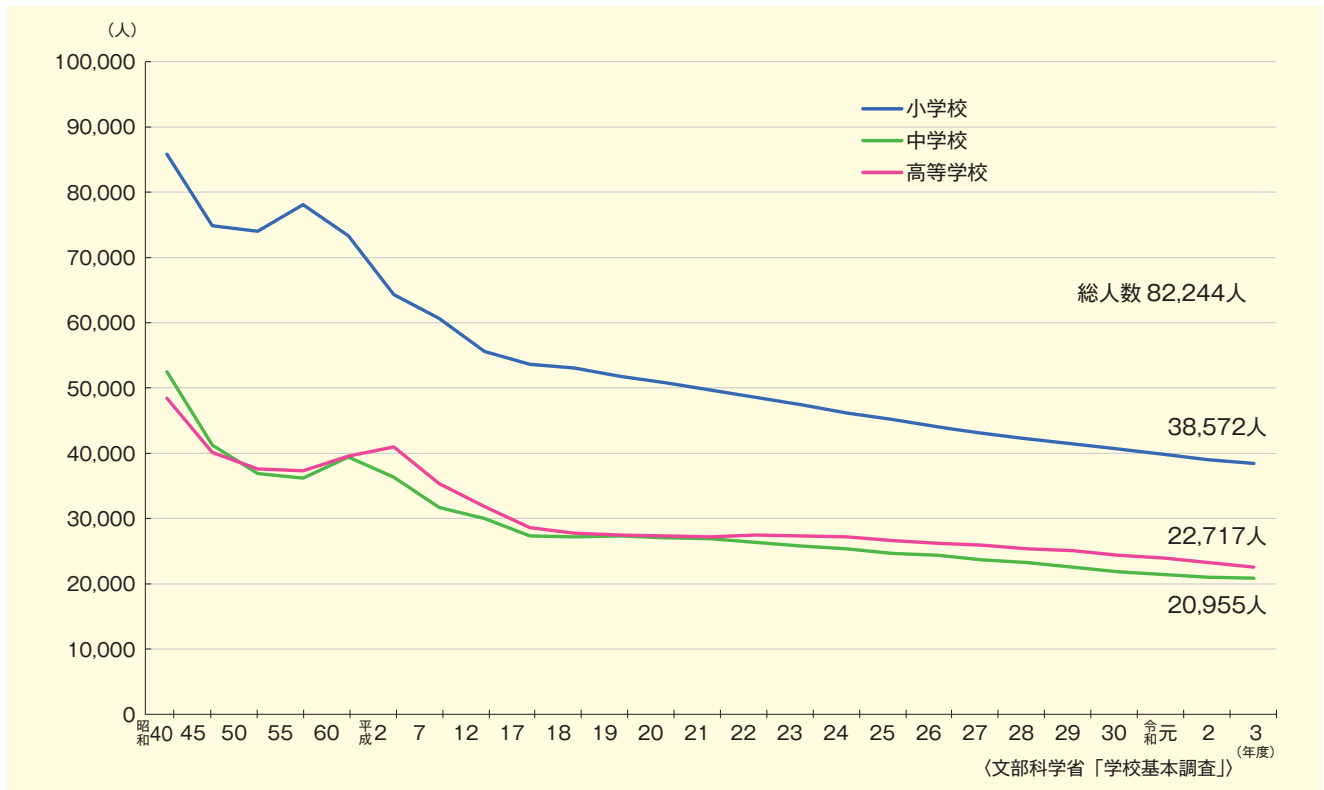
ボランティア活動



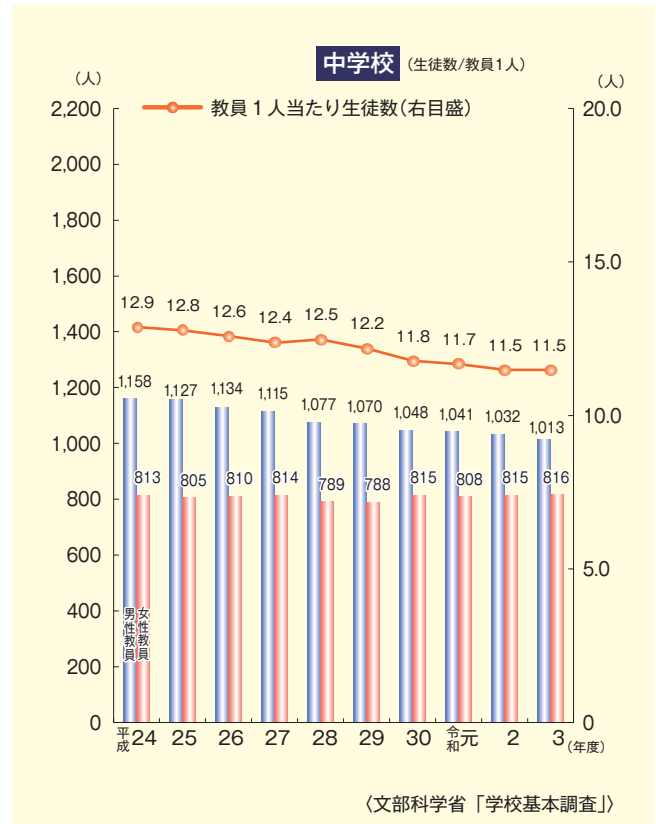
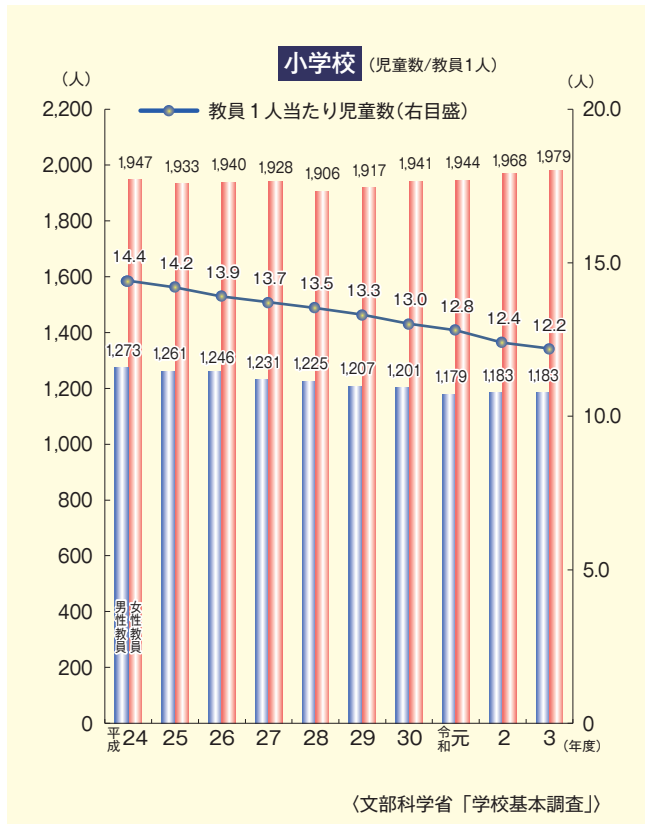
〈総務省「平成28年社会生活基本調査」〉

県内に住む10歳以上の男女の生活行動時間を見ると、男性は仕事に費やす時間が、女性は仕事・家事に費やす時間が多くなっていますが、前回調査時（平成23年）と比べると、男性の仕事に費やす時間は2分短く、女性の手家事に費やす時間は6分長くなっています。学習・自己啓発・訓練の行動者率を年齢階級別で見ると、全ての年齢階級で前回（平成23年）調査以上の率となっています。ボランティア活動の行動者率は29.7%となっており、その他を除くすべての種類で全国を上回っています。

児童・生徒数の推移(各年5月1日現在)

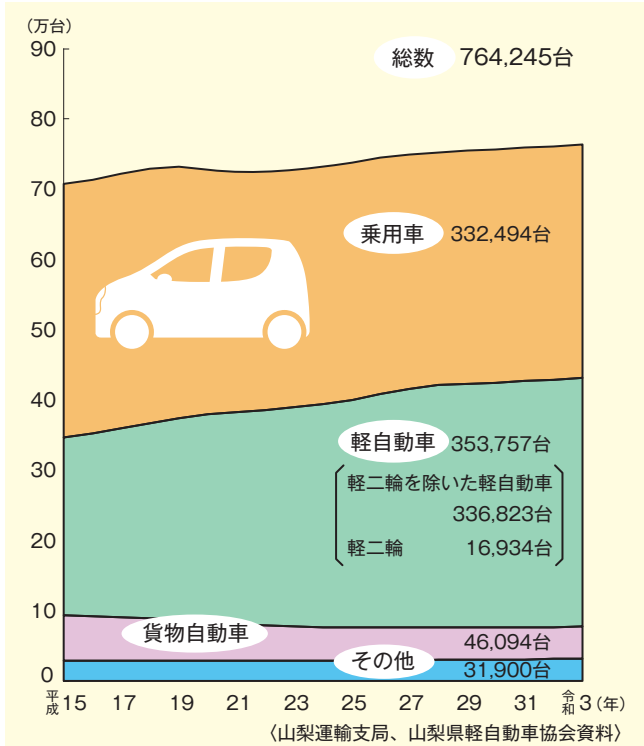


教員数と教員1人当たりの児童・生徒数の推移

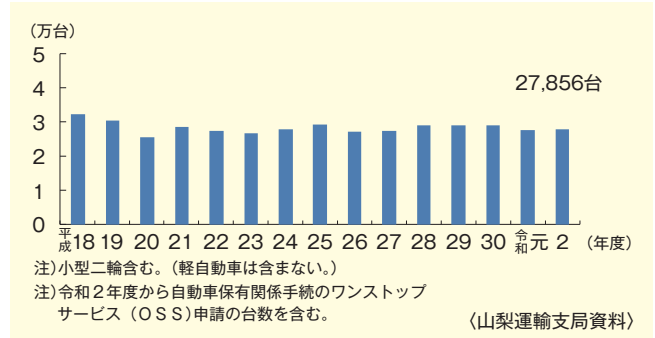


令和3年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生38,572人、中学生20,955人、高校生22,717人となっており、児童・生徒数は、前年度に比べて減少しています。また、教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校で12.2人、中学校で11.5人となっています。

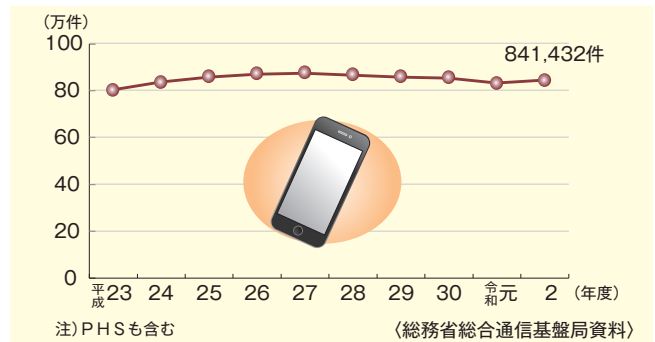
自動車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



自動車新規登録台数の推移

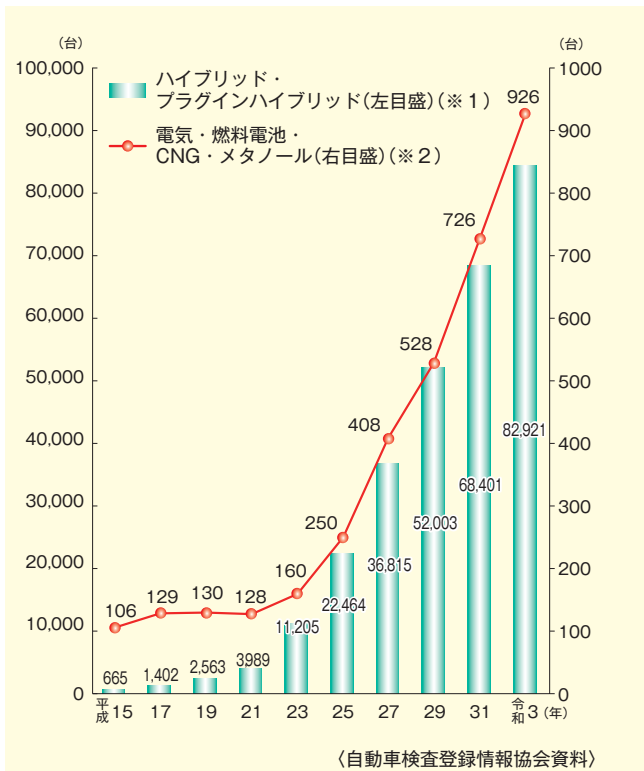


携帯電話契約数の推移

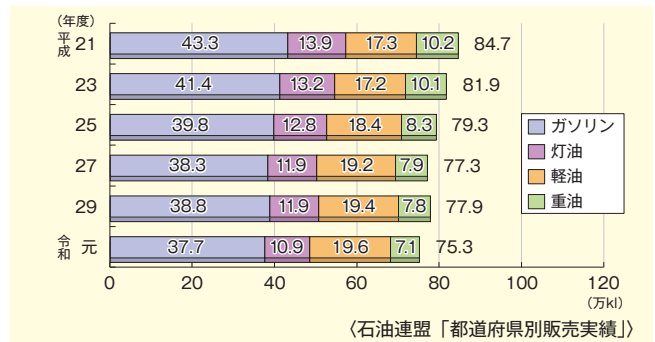


令和3年3月31日現在の本県の自動車保有台数は、764,245台で、2年前に比べて4,400台増加しています。令和3年3月31日現在の携帯電話・PHS契約数は841,432件で、前年に比べ10,733件増加しました。

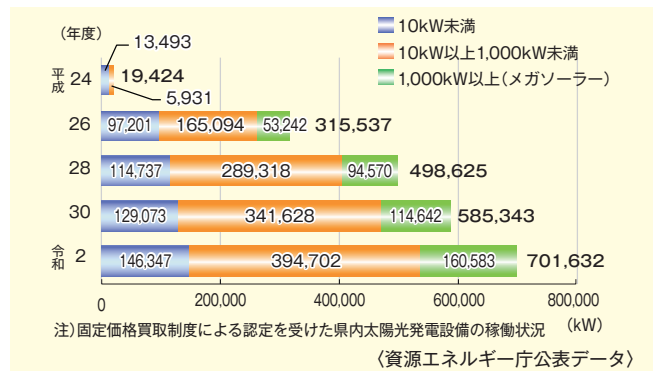
低公害車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



燃料油販売量の推移

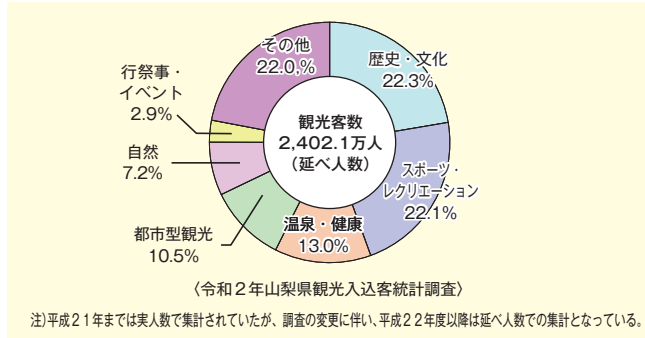


太陽光発電設備稼働状況(屋根置き含む)

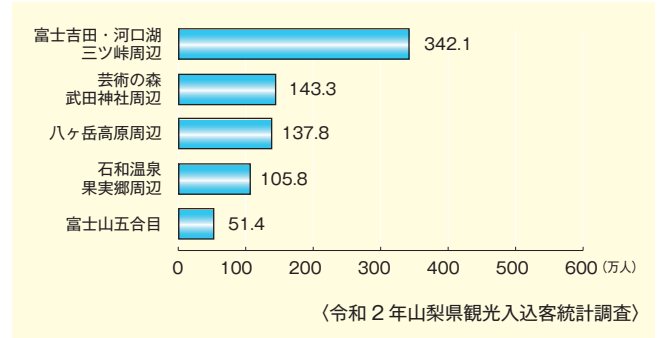


令和3年3月31日現在の低公害車保有台数は、ハイブリッド・プラグインハイブリッドの合計※1が82,921台、電気・燃料電池・CNG・メタノールの合計※2が926台で、2年前に比べ※1は14,520台(21.2%)、※2は200台(27.5%)増加しています。令和2年度の太陽光発電設備の稼働状況は701,632kWで、平成24年度に比べ682,208kW、約36倍に増加しています。

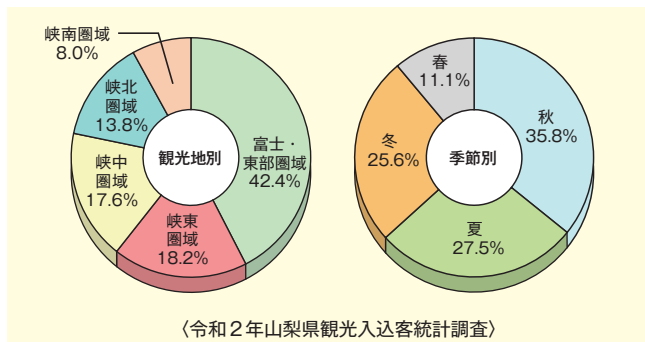
観光分類別観光客数の割合



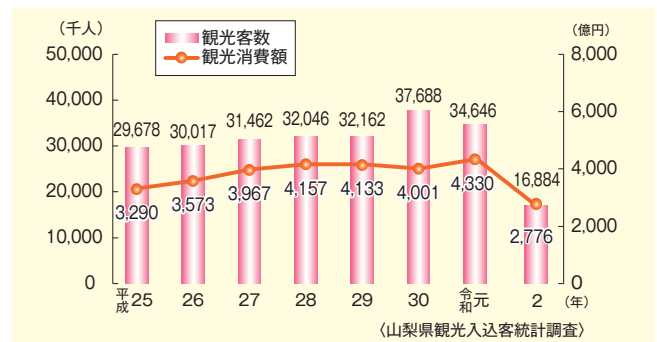
主な観光地別観光客数



観光客数の割合(観光地別、季節別)

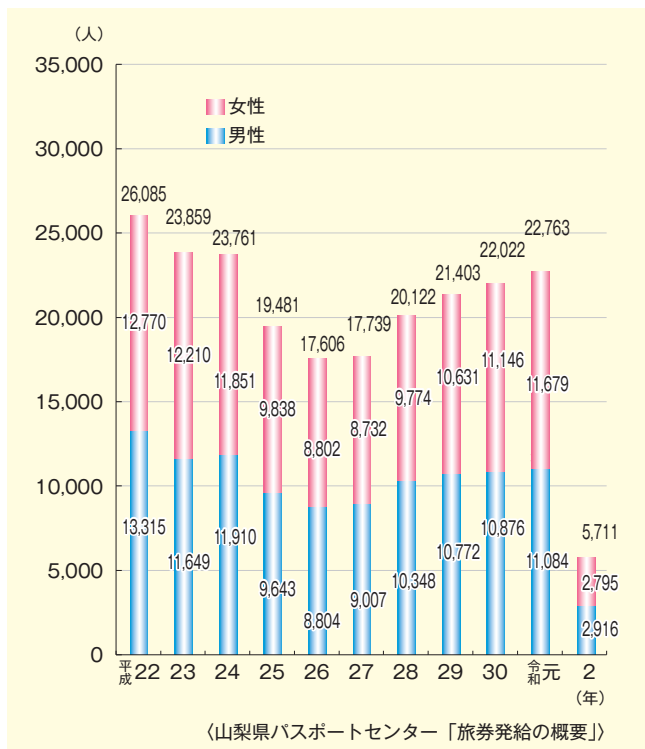


観光客数と観光消費額の推移

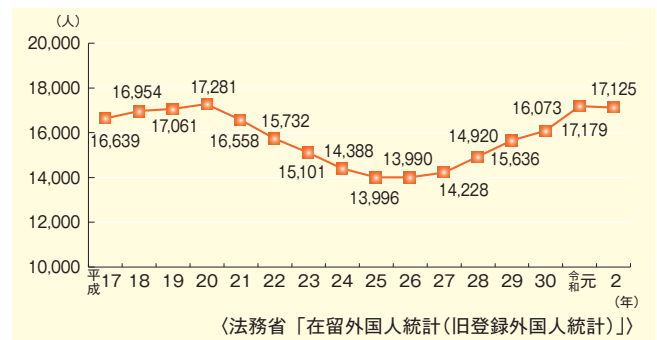


令和2年に本県を訪れた観光客数は、延べ人数2,402.1万人で、本県の歴史・文化を求めて訪れる人が一番多く、次にスポーツ・レクリエーションを求めて訪れる人が多くなっています。
令和2年に本県で最も多く観光客が訪れたのは、季節では秋、観光地では、富士山や富士五湖を中心とする富士・東部圏域となっています。
令和2年の観光消費総額は、2,776億円で、前年に比べ1,554億円減少しました。

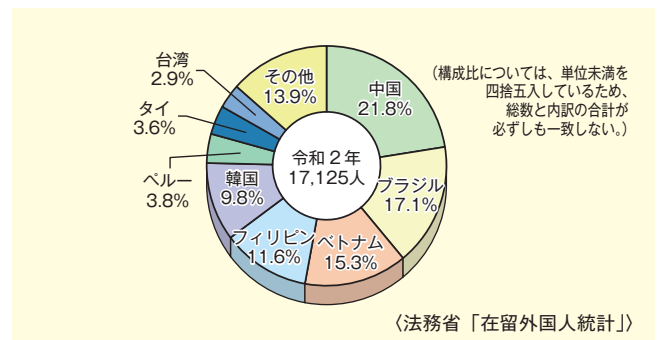
旅券発行数の推移



県内在留外国人(旧外国人登録者)の推移(各年12月末日現在)



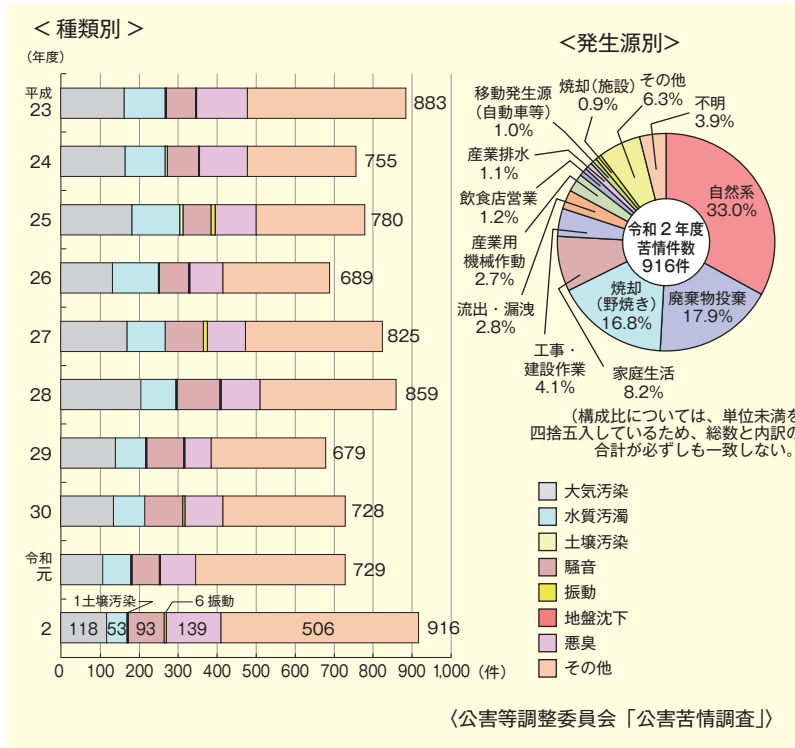
国別在留外国人割合(令和2年12月末日)



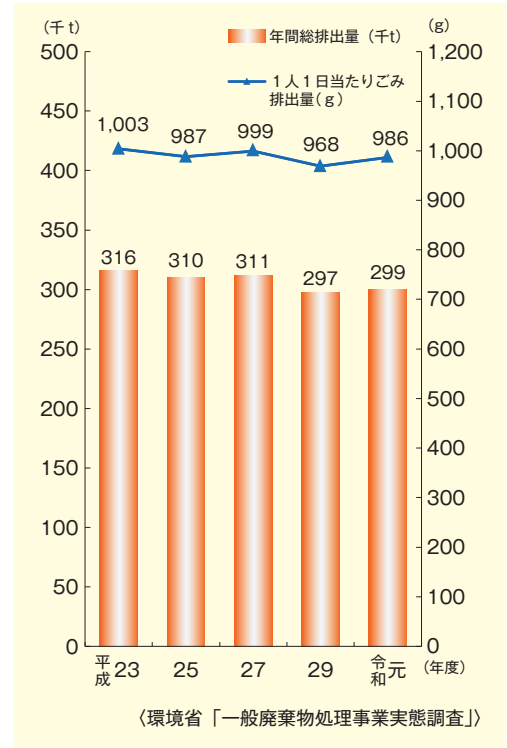
令和2年における旅券発行(者)数は5,711人で、前年に比べ17,052人(74.9%)減少しています。
令和2年12月末日現在の県内の在留外国人数は17,125人で、国別にみると、中国が最も多く21.8%、次いでブラジル17.1%、ベトナム15.3%の順となっています。

居住環境

公害苦情件数の推移・公害苦情の具体的原因割合

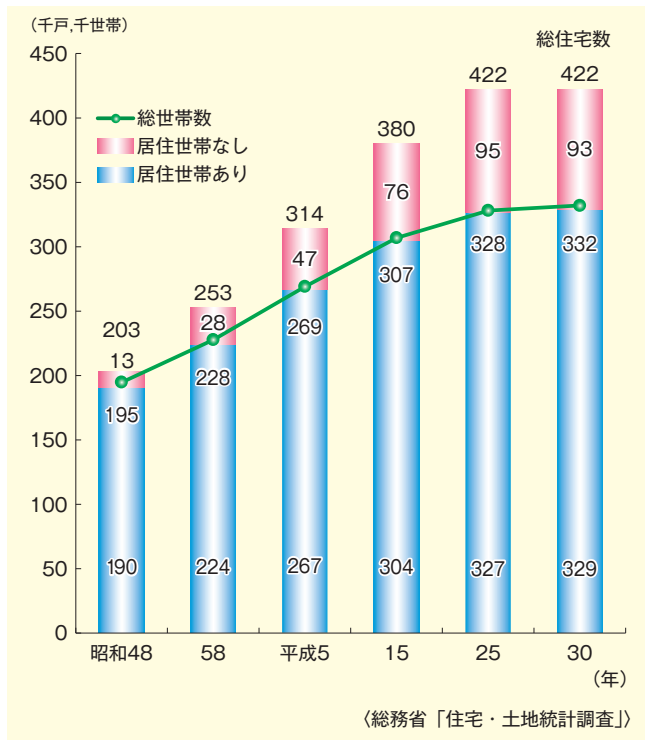


1人1日当たりごみ排出量と年間総排出量の推移

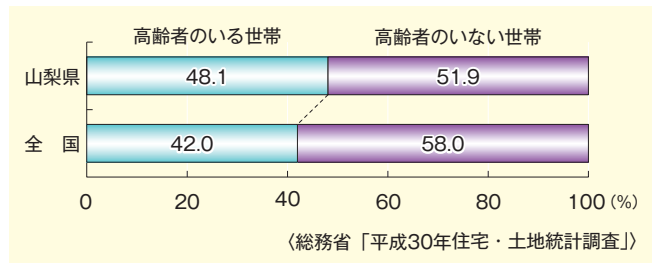


令和2年度の公害苦情件数は916件で、前年度に比べ187件増加しています。公害苦情件数を公害の種類別にみると、主な7つの公害に関する苦情が全体の44.8%を占めており、その中では、悪臭、大気汚染、騒音、水質汚濁の順となっています。

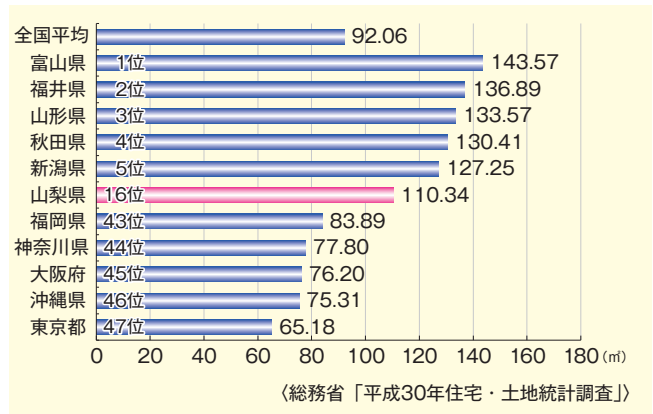
居住世帯の有無別住宅数・総世帯数の推移



高齢者のいる世帯の割合

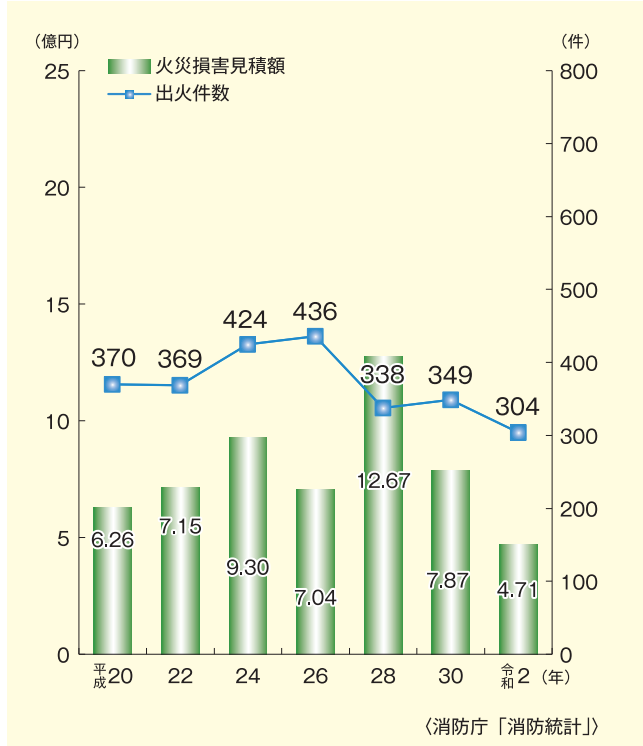


1住宅当たり延べ面積比較(専用住宅)

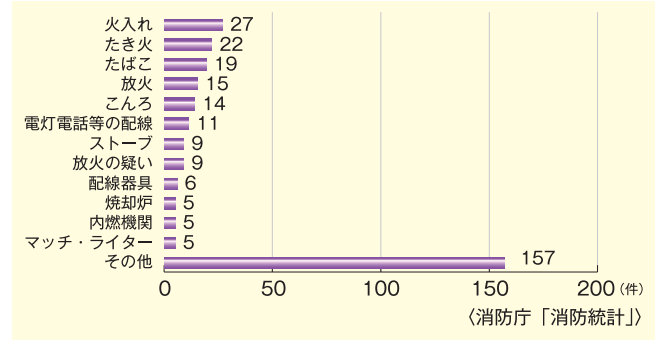


平成30年の居住世帯のある住宅数は32万9千戸、居住世帯のない住宅数は9万3千戸となっています。平成30年の本県の65歳以上の高齢者のいる世帯の割合をみると48.1%で、全国に比べて6.1ポイント高くなっています。平成30年の本県の1住宅当たり延べ面積(専用住宅)は110.34㎡で、全国平均(92.06㎡)より18.28㎡多くっており、全国順位第16位となっています。

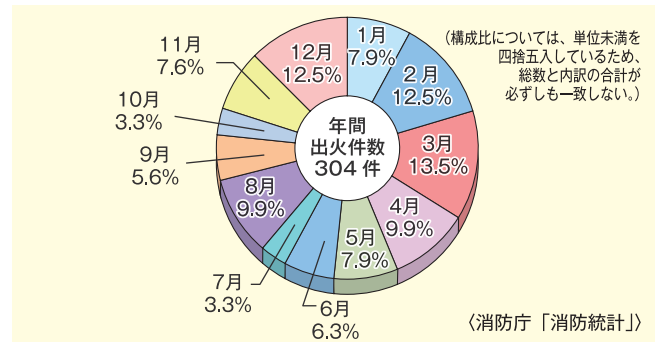
火災発生状況の推移



出火原因別・出火件数上位10位(令和2年)



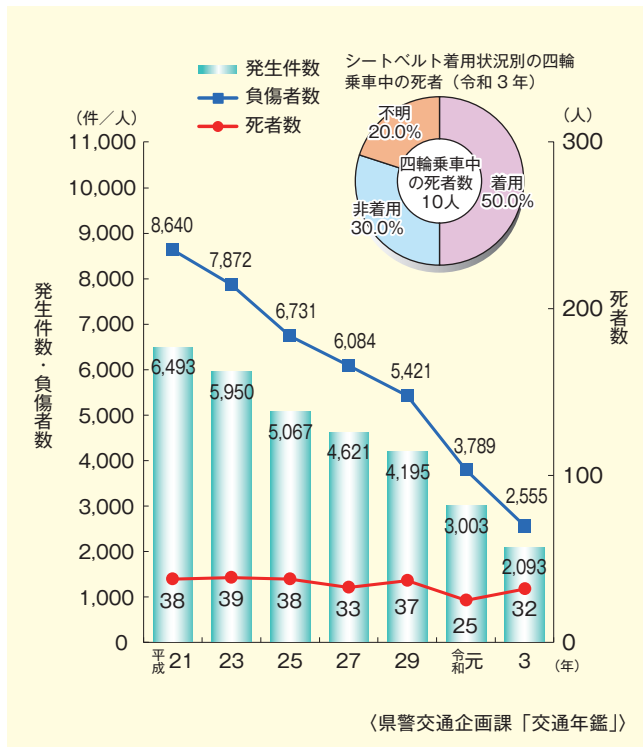
月別火災発生状況(令和2年)



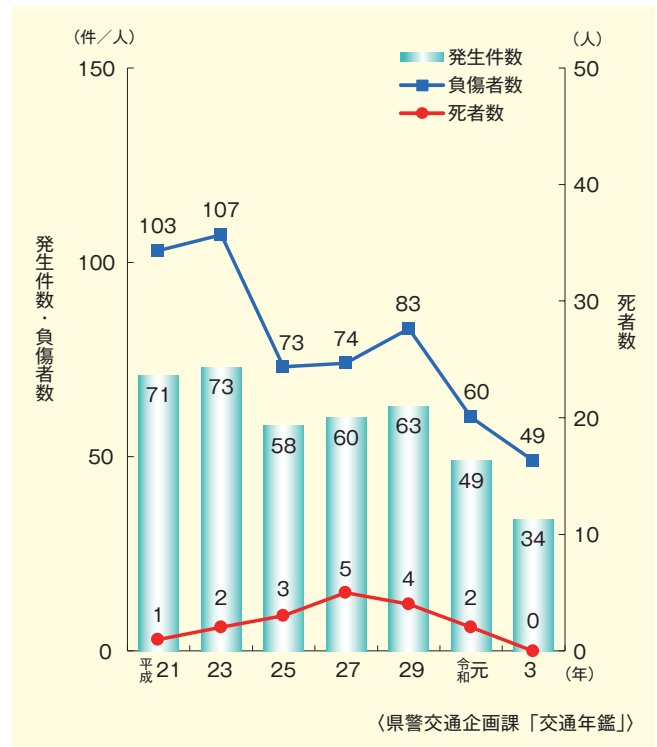
令和2年に発生した火災は304件で、2年前と比べると45件減少しています。損害見積額は、4億7,067万円と2年前より3億1,655万円減少しています。

また、令和2年中の月別火災発生件数は3月が最も多く、出火原因別・出火件数は、火入れ（枯草焼き等）、たき火、たばこが多くなっています。

交通事故発生件数等の推移



飲酒運転による交通事故発生件数等の推移



令和3年の交通事故発生件数は2,093件で、2年前と比べると910件減少し、死者数は32人で、2年前と比べると7人増加しました。

飲酒運転事故発生件数は34件で、2年前と比べると15件減少し、死者数は0人で、2年前と比べると2人減少しました。

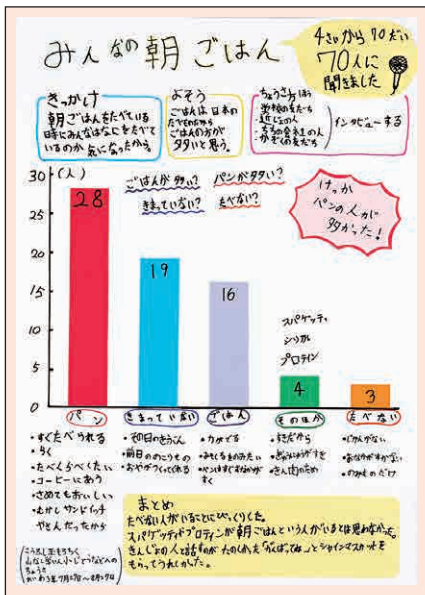
山梨県統計グラフコンクール

入賞作品集

身近なこと、話題になっていること、気になったことをグラフにして・・・
今年度も、たくさんのすばらしい作品が集まりました。

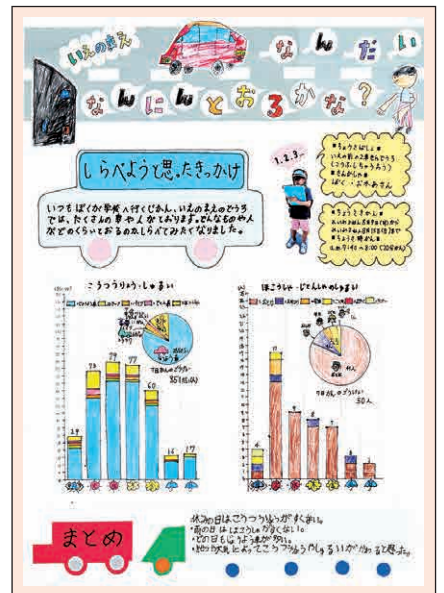
第 1 部 (小学校 1・2 年生)

知事賞 山梨学院小学校 2年 和泉 晃大さん



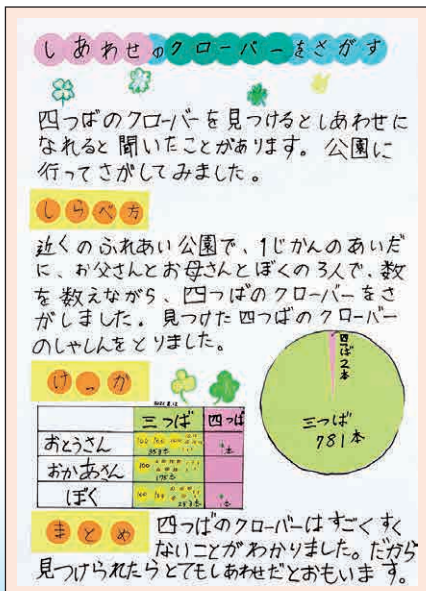
小さい子からお年寄りまで、幅広くインタビューをがんばりました。棒グラフに表すと、パンが多いことがよくわかりますね。

教育長賞 山梨学院小学校 2年 雨宮 楽さん



同じ道でも曜日によって、車や人の数が変わるのが面白いですね。グラフや絵を上手に組み合わせて伝えたいことを表せています。

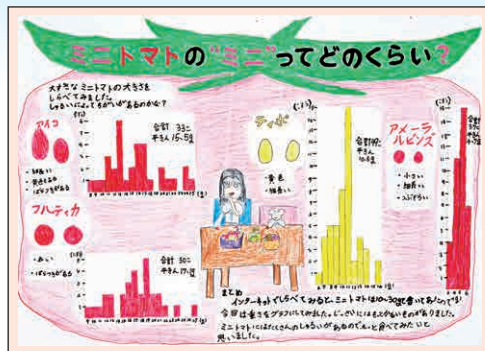
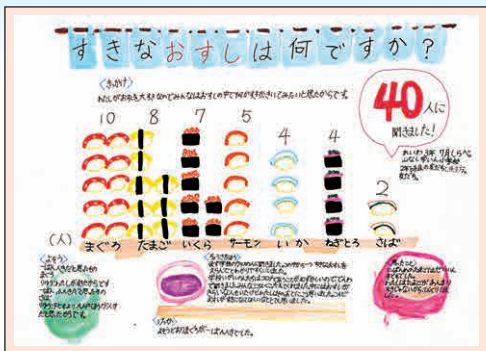
教育長賞 山梨学院小学校 2年 寺田 航さん



家族でクローバー探しができて楽しかったですね。四つ葉はやはり少ないのですね。とても幸せな気分になる作品です。

入選 山梨学院小学校2年 齊藤 茉以さん

入選 山梨学院小学校2年 八重樫 莉歩さん



一つ一つおすしのネタを積み上げたグラフが面白いですね。紙面全体をおすしやさんに見立てたレイアウトも工夫しています。

4種類のミニトマトの重さを棒グラフにまとめています。楽しみながら調査している様子が目に浮かびます。

第2部 (小学校3・4年生)

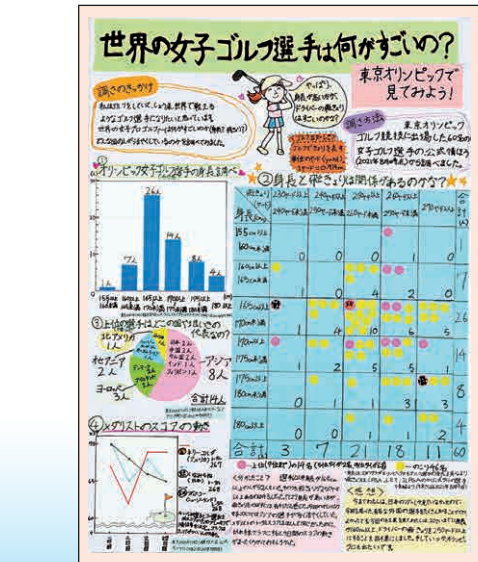
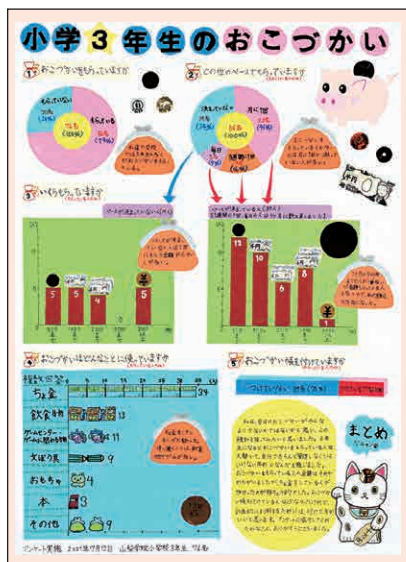
知事賞 山梨学院小学校4年 志村 隼麻さん



3日4日にかけて1万回もサイコロを振って記録し続けた努力に拍手です。やはり回数を増やすほど、目の出方が安定してくるのですね。

教育長賞 山梨学院小学校3年 高野 伶紗さん

お小遣いの金額、遣い方、お小遣い帳の有無など、気になったことを細かく調べて分かりやすくグラフにまとめることができています。



教育長賞 山梨学院小学校4年 山内 ひかりさん

東京オリンピックに出場した女子ゴルフ選手の身長と飛距離との関係に目を付けてまとめました。将来、オリンピックで活躍できるといいですね。

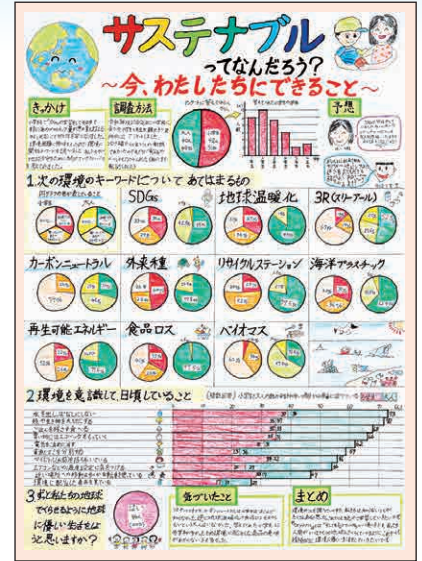
入選 山梨学院小学校3年 鶴田 侑己さん

入選 山梨学院小学校4年 石坂 優衣さん
1年 石坂 悠真さん



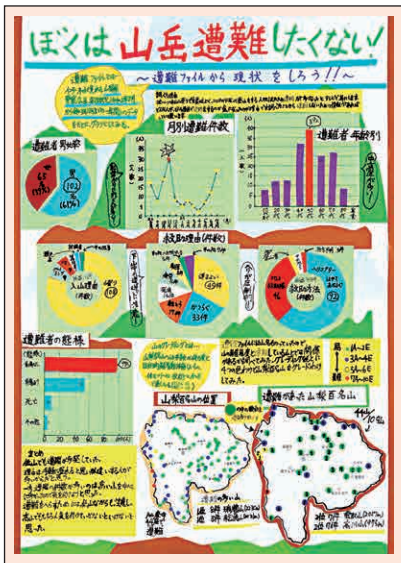
姉で力を合わせてすてきな作品に仕上げてくださいました。この調査がきっかけで、SDGsへの関心もさらに高まったことでしょう。

夏休みの兄弟げんかのデータを取ったユニークな作品です。けんかの理由もしっかり考察できたので、もっと仲良く兄弟に近づけそうですね。



第3部 (小学校5・6年生)

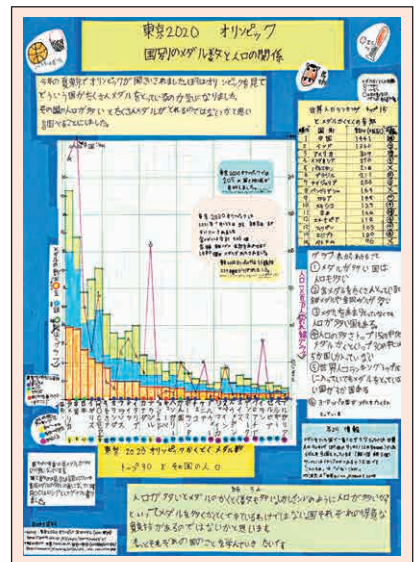
教育長賞 山梨大学教育学部附属小学校5年 小田 千博さん



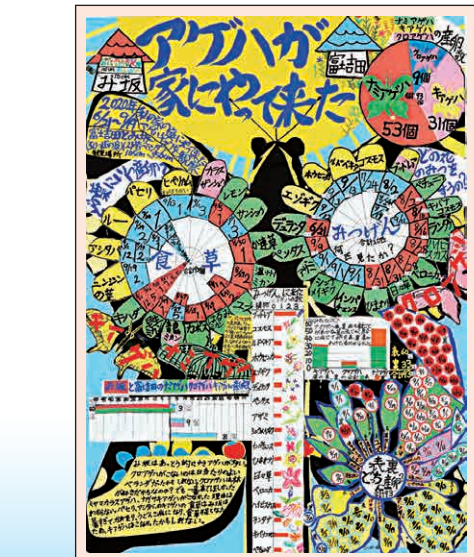
山岳遭難をする人を減らしたいという思いが伝わってきます。3種類のグラフを効果的に活用しています。



入選 甲府市立舞鶴小学校5年 戸川 諒さん



オリンピックのメダル獲得数と人口との関係をグラフにまとめています。世界の国についての興味もふくらんだようです。

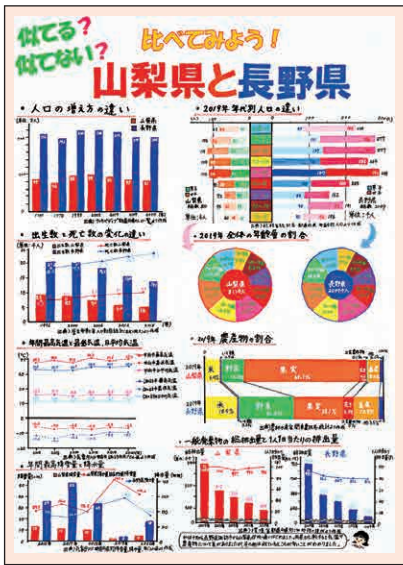


入選 山梨学院小学校5年 古屋 絵梨果さん

アゲハチョウの生態を詳しく調査していることが分かります。グラフと絵を上手に組み合わせていますね。

第4部 (中学生)

知事賞 駿台甲府中学校 1年 北原 凜佳さん

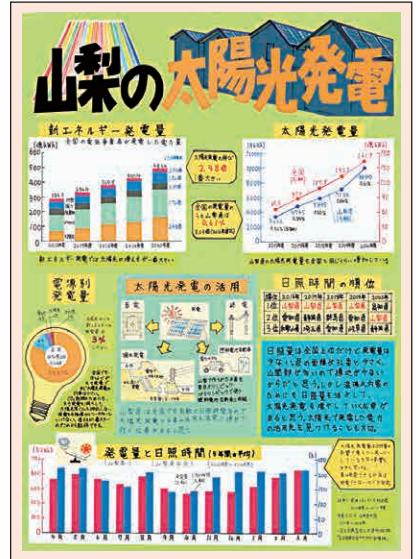


山梨県と長野県の違いが伝わるように、棒グラフや円グラフなど、さまざまなグラフを用いて見やすくまとめています。

教育長賞

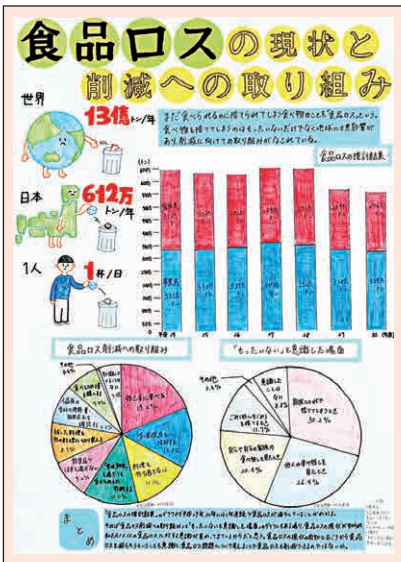
山梨学院中学校 2年 末木 琉偉さん

グラフのまとめ方はもちろんのこと、デザインも素晴らしいです。発電量の変化などが分かりやすくまとめられています。



教育長賞

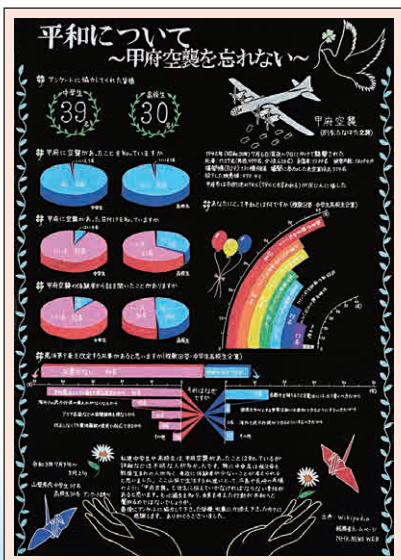
山梨学院中学校 3年 嵐 日彩さん



食品ロスの現状と削減への取り組みを関連付けて考察しています。シンプルながらも適切なグラフを見やすく表現していますね。

入選 山梨学院中学校 1年 高野 純伶さん

入選 山梨学院中学校 2年 名倉 湧希さん



富士五湖の水位変動の原因と影響をさまざまな話題から調査してまとめてあります。色合いやデザインが豊かで見やすいです。

甲府空襲について、中高生の意識調査の結果をまとめています。虹色の棒グラフで平和を表現している点も印象的です。



第5部 (高等学校以上の生徒・学生及び一般)

入選

山梨県立やまびこ支援学校高等部

- 3年 黒部 奈月さん
- 3年 鈴木 快さん
- 3年 安藤 晴輝さん



東京2020オリンピックについて、丁寧にアンケートをまとめています。イラストも豊富にあって、見て楽しくなりますね。

パソコン統計グラフの部 (小学生以上)

知事賞

駿台甲府中学校 1年
薬袋 久美さん

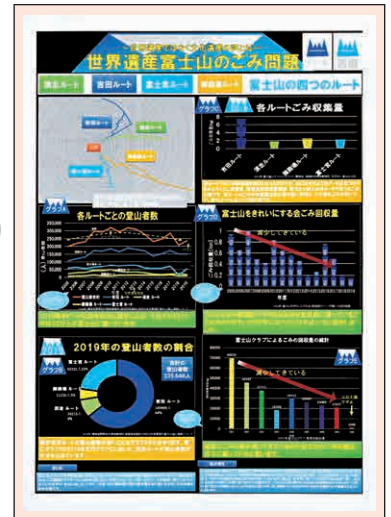


一つひとつのグラフに対して的確に考察をしながらまとめていますね。今後の予想まで立てている点もすばらしいです。



教育長賞

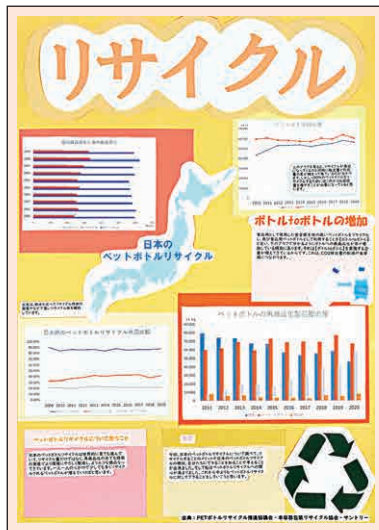
山梨学院中学校 1年
古屋 麻奈実さん



富士山のごみ問題について、パソコンの機能をいかし、視覚的に見やすく構成していますね。考察も的確にまとめられています。

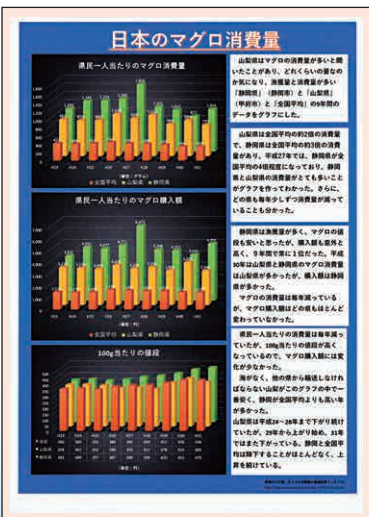
教育長賞

山梨学院中学校 3年
登内 りなさん



リサイクルについて、さまざまな資料からデータを収集し、わかりやすくまとめています。見やすいグラフで表現していますね。

質の良い睡眠をとるためにデータを収集し、分析した結果を踏まえて帰宅後のスケジュールを考えている点がすばらしいです。



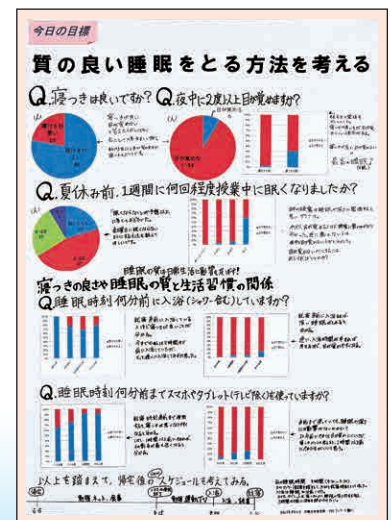
入選

山梨県立塩山高等学校 1年
森山 優樹さん

入選

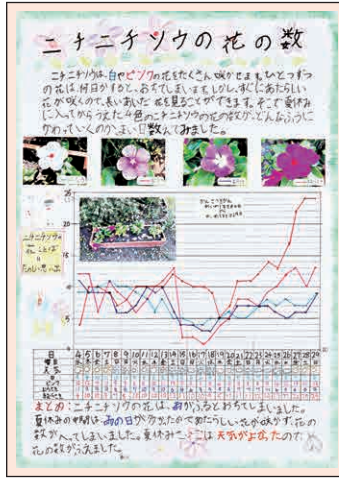
北杜市立甲陵中学校 2年
窪田 瑞樹さん

興味があることについて調べ、分析したことをわかりやすくまとめています。グラフに立体感を持たせる工夫もすばらしいです。

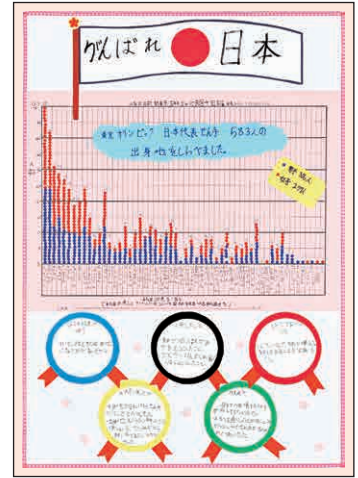


各部門佳作

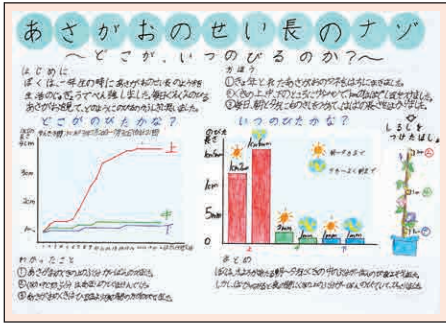
第1部 山梨学院小学校2年
神澤 咲音子さん



第1部 山梨学院小学校2年
阪上 莉歩さん



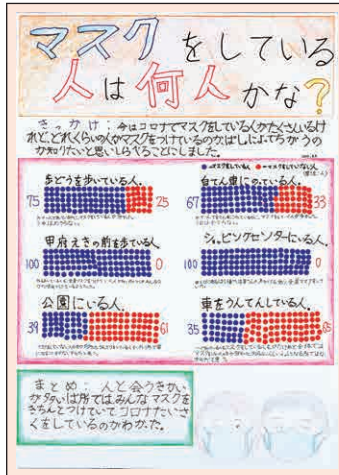
第1部 山梨学院小学校2年
弘津 佑真さん



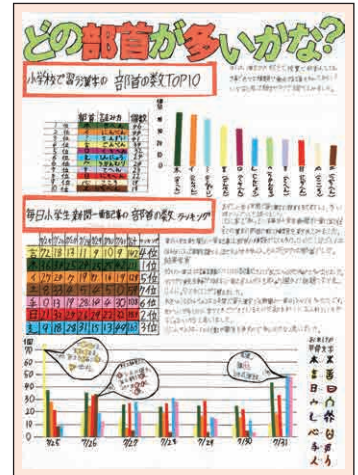
第1部 山梨学院小学校2年
高瀬 晶帆さん



第1部 山梨学院小学校2年
原 碧乃さん



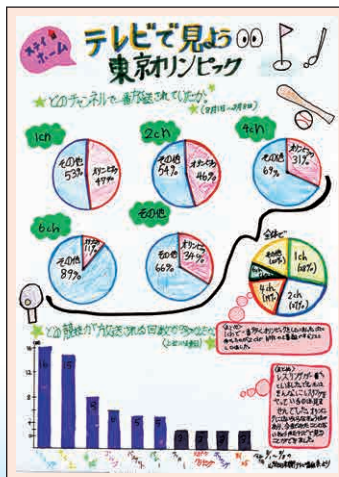
第2部 山梨学院小学校3年
黒木 良哉さん



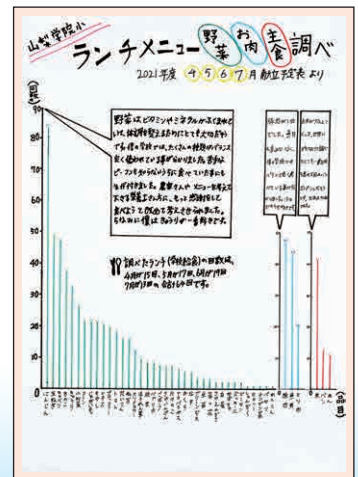
第2部 山梨学院小学校3年
平出 紗雪さん



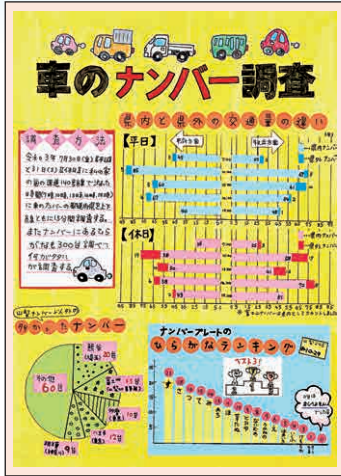
第2部 山梨学院小学校4年
加賀美 真桜さん



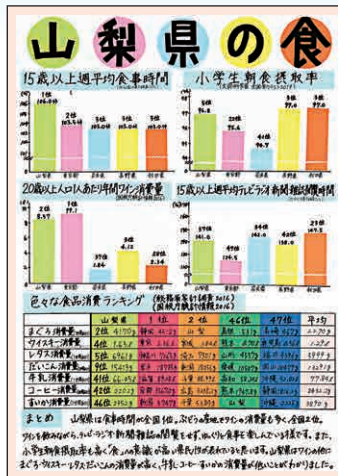
第2部 山梨学院小学校4年
天川 礼雅さん



第2部 山梨市立八幡小学校4年
藤木 美成さん



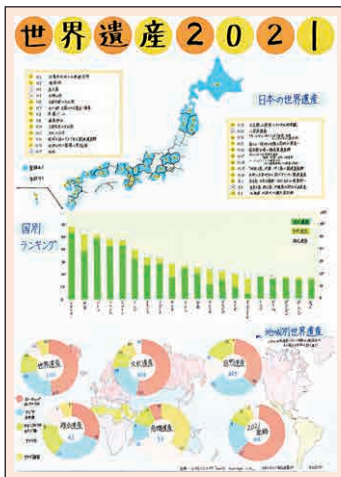
第4部 山梨学院中学校2年
渋谷 理紗さん



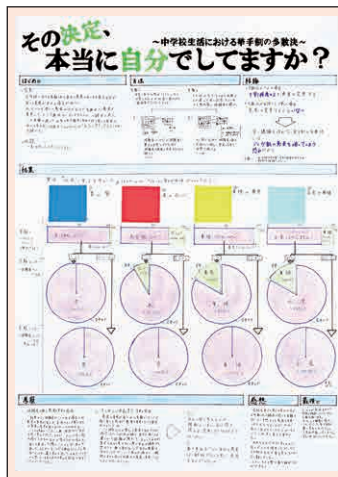
第4部 北杜市立甲陵中学校2年
進藤 美月さん



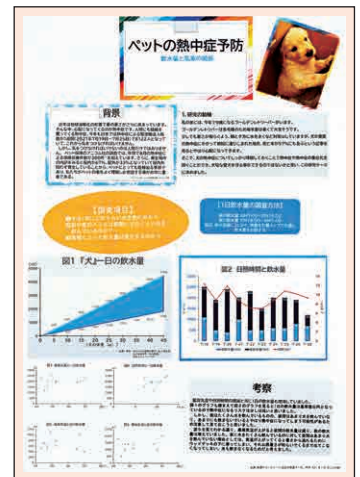
第4部 山梨大学教育学部附属中学校1年
矢崎 遥香さん



第4部 山梨大学教育学部附属中学校2年
佐野 史季さん



パソコン統計グラフの部
山梨学院中学校2年 内田 茉那さん



パソコン統計グラフの部
山梨学院中学校2年 倉澤 文さん



山梨県統計グラフコンクールは、統計グラフの作成を通して、皆さんに統計を理解し、親しんでいただくことを目的として毎年開催しており、昭和28年に第1回のコンクールがスタートしてから、今年で69回目となりました。

今回は710点の応募がありましたが、この作品集には、各部門の知事賞4点、教育長賞9点、入選11点、佳作16点の計40点を掲載してあります。

統計グラフコンクールに チャレンジしてみよう!!

みなさんがつくった統計グラフを募集します。
あなたが調べて感じたことを、統計グラフにまとめてみませんか？
県内在住・在学・在勤で小学生以上の方ならどなたでも応募できます。
入賞作品を集めた展示会も開催します。
入賞作品のうち優秀な作品については、全国コンクールへ出品します。
応募者全員に参加賞をお贈りします。ふるってご応募ください!!



統計グラフの作成手順

STEP1

主題（テーマ）を決めよう

自分が調べたいことを決めます。

STEP2

資料を集めよう

主題（テーマ）にあった資料（数値）を収集します。

STEP3

グラフを決めよう

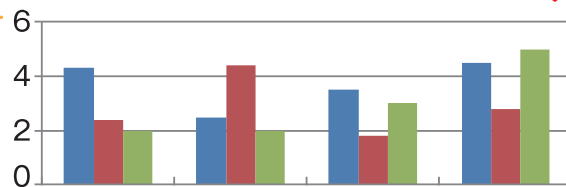
データや自分が伝えたい内容に応じて、使用するグラフを決定します。

STEP4

仕上げ

単位や目盛り注意到意しながら、グラフを仕上げます。

完成!



応募上の留意点

- 作品の大きさはB2判（72.8cm×51.5cm）
- 作品は、自分で考えてつくったものに限ります。
- テーマは自由です。ただし、小学校4年生以下の児童については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしてください。
- 5人以内なら合作でもかまいません。
- ゆるキャラや五輪マークなど、ほかの人が作成したイラストや写真を使用しないでください。
- 取材資料の出所をグラフの表面に明記してください。
- 使用した統計資料の時点を作品に明記してください。
- 例年6月に作品募集開始になります。詳しい応募要領は、6月以降に、下記「山梨県統計調査課」ホームページを確認のうえ、ご応募ください。

過去の入賞作品や応募方法については、「山梨県統計調査課」ホームページをご覧ください。
自分の作品を多くの県民のみなさんに見てもらおうチャンスです。ふるってご応募ください。

「山梨県統計調査課」ホームページ

<https://www.pref.yamanashi.jp/toukei/>



**「統計からみたやまなし—令和3年度—」
令和4年3月発行**

山梨県県民生活部統計調査課

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目 6-1

☎055(223)1340

URL <https://www.pref.yamanashi.jp/toukei/>